

39 大阪市

1 担当する事務部局の基本情報

① 設立している公立大学法人名	公立大学法人大阪市立大学
② 公立大学担当部局名 (実際の業務にあたる職員数)	大阪市経済戦略局総務部総務課大学支援担当 5

2 評価委員会の構成

(1) 評価委員会の名称等

① 名称	大阪市公立大学法人評価委員会
② 定数（委員の種別別）	7
③ 任期（1期の年数と、再任、再再任等の可否）	2年（再任可）

(2) 評価委員会の現在の構成

	委員の種別	委員名	現職等	属性	委員の経験年数
1	委員長	楠本 正一	大阪大学名誉教授	A) 高等教育	5年目
2	委員長職務代理者	堀 正二	大阪府立成人病センター名誉総長	D) 医療・看護・保健	5年目
3	委員	種田 ゆみこ	公認会計士	G) 会計士	5年目
4	委員	喜多 裕一	(株)日本触媒顧問 神戸大学大学院工学研究科特命教授	A) 高等教育 C) 経済界	2年目
5	委員	桑原 秀史	関西学院大学経済学部教授	A) 高等教育	1年目
6	委員	竹村 登茂子	読売新聞大阪本社 文化・生活部長	E) 報道	1年目
7	委員	宮本 又郎	大阪大学名誉教授	A) 高等教育	1年目

3 評価委員会の活動（評価委員会が実施した会議、大学への視察、設立団体の長への報告等の活動）

(1) 平成25年度に実施された平成24事業年度評価に関する活動

会議等の名称	開催月	主な議題	法人側の主な参加者
第2回大阪市公立大学法人評価委員会	7月	・公立大学法人大阪市立大学 第二期中期目標の変更について ・平成24年度業務実績に関する評価について	理事兼副学長、事務担当者
第3回大阪市公立大学法人評価委員会	8月	・平成24年度業務実績に関する評価について ・平成24年度財務諸表について	(大学で開催※) 理事長兼学長、理事兼副学長、理事、事務担当者
第4回大阪市公立大学法人評価委員会	9月	・平成24年度業務実績に関する評価について ・平成24年度財務諸表の市長承認に対する意見具申について ・平成24年度剰余金繰越の市長承認に対する意見具申について	事務担当者

※ 大学への視察については、毎年度は行っていないが、役員が出席する評価委員会を大学で開催するように調整している。
また任期満了に伴う委員交代の際には、評価委員会の開催時に合わせて、大学の施設見学を行っている。

(2) 中期目標期間の評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者
第1回大阪市公立大学法人評価委員会	24年 7月	・平成23年度業務実績評価の検討について ・第一期中期目標期間（平成18年～23年度）業務実績評価の検討について	理事兼副学長、事務担当者
第2回大阪市公立大学法人評価委員会	24年 8月	・平成23年度業務実績評価および第一期中期目標期間（平成18年～23年度）業務実績評価に関する法人からの意見聴取について ・平成23年度業務実績評価について ・第一期中期目標期間（平成18年～23年度）業務実績評価について ・平成23年度財務諸表について	(大学で開催) 理事長兼学長、理事兼副学長、理事、事務担当者
第3回大阪市公立大学法人評価委員会	24年 9月	・平成23年度業務実績に関する評価結果について ・第一期中期目標期間（平成18年～23年度）業務実績に関する評価について ・平成23年度財務諸表の市長承認に対する意見具申について ・第一期中期目標期間積立金繰越の市長承認に対する意見具申について	事務担当者
公立大学法人大阪市立大学の平成23年度業務実績及び第一期中期目標期間業務実績に関する評価結果の市長への報告	24年 10月	・公立大学法人大阪市立大学の平成23年度業務実績及び第一期中期目標期間業務実績に関する評価結果報告	なし

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者
第2回大阪市公立大	22年	・業務実績評価委に関する法人からの意見聴取について	(大学で開催)

学法人評価委員会	8月	・平成21年度業務実績に関する評価の検討について ・中期目標期間にかかる業務実績に関する事前評価の検討について ・平成21年度財務諸表について	理事長兼学長、理事兼副学長、理事、事務担当者
第2回大阪市公立大学法人評価委員会	22年9月	・平成21年度業務実績及び中期目標期間に係る業務実績に関する評価結果について ・平成21年度財務諸表の市長承認に対する意見具申について ・剰余金繰越の市長承認に対する意見具申について ・今後の評価委員会のスケジュールについて	事務担当者

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法等について、以下の項目にお答えください。

		各事業年度の評価		中期目標期間の評価	
① 評価基準の有無		有・無		有・無	
② 評価結果の示し方	大項目（教育研究等の評価）	記述式・4段階・5段階 その他（ ）	記述式・4段階・5段階 その他（ ）	記述式・4段階・5段階 その他（ ）	記述式・4段階・5段階 その他（ ）
	大項目（その他の評価）	記述式・4段階・5段階 その他（ ）	記述式・4段階・5段階 その他（ ）	記述式・4段階・5段階 その他（ ）	記述式・4段階・5段階 その他（ ）
	小項目	記述式・4段階・5段階 その他（ ）	記述式・4段階・5段階 その他（ ）	記述式・4段階・5段階 その他（ ）	記述式・4段階・5段階 その他（ ）
③ 法人の自己評価の評点を評価委員会が修正し評価結果としたことはありますか		上方への修正	有・無	上方への修正	有・無
		下方への修正	有・無	下方への修正	有・無
④ 評価結果を支援強化（弱点への資金の重点配分等）に活用することがありましたか		有 無	備考：	有 無	備考：
⑤ 評価結果を支援削減（運営費交付金等）に反映させることがありましたか		有 無	備考：	有 無	備考：
⑥ 評価結果をもとに法人の運営について具体的な提案を行うことがありましたか		有 無	備考：	有 無	備考：
⑦ 評価結果を公立大学行政に反映させることはありましたか		有 無	備考：	有 無	備考：
⑧ ④～⑦の対応を行う際に、評価委員会から意見を聴取することはありましたか		有 無	備考：	有 無	備考：
⑨ 評価結果を評価委員会が設立団体の長に直接説明し意見交換を行う機会がありましたか		有 無	備考：第1期中期目標期間では行っていたが、第2期中期目標期間からは行っていない。	有 無	備考：
⑩ 設立団体の長による評価結果の議会への報告に際し、質疑が行われる会議（委員会等）名及び、最近の議会での主な質問項目についてお答えください		会議名（ 都市経済委員会 （平成24年度まで財政総務委員会） ） 報告の方法等：市会運営委員会において、報告される。 質疑があれば基本的に都市経済委員会で行われるが、ここ数年質疑なし。			

(2) その他、法人評価の実施に関して、例えば評価委員会から出される要望事項等、課題があればご記入ください。

5 法人評価のための情報収集等について

① 以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください

- A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供され、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出される
B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
C) 法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
D) その他（ ）

② 法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

6 大学の教育研究の特性への配慮について

① 中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください

- ・認証評価は7年に一度、中期目標期間は6年であり、中期目標期間の間に認証評価が行われないことが発生する。
・中期目標期間のうちに認証評価が実施されたとしても、中期目標期間の評価を行う時点とは違うため、そのままふまえることに疑義を感じる

② 教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

- ・評価委員会としての継続性を確保するため、委員交代時は半数の委員は再任するように、審議会担当部署と協議している。

40 神戸市

1 担当する事務部局の基本情報

① 設立している公立大学法人名	神戸市外国語大学
② 公立大学担当部局名 (実際の業務にあたる職員数)	行財政局行政監察部行政経営課 3人
③ 法人評価担当部局名(②と異なる場合) (実際の業務にあたる職員数)	

2 評価委員会の構成

(1) 評価委員会の名称等

① 名称	神戸市公立大学法人評価委員会
② 定数(委員の種別別)	5人
③ 任期(1期の年数と、再任、再再任等の可否)	2年(再任可)

(2) 評価委員会の現在の構成

	委員の種別	委員名	現職等	属性	委員の経験年数
1	委員長	金児 暁嗣	相愛学園理事長・相愛大学学長	A) 高等教育	4年目
2	委員	井野瀬 久美恵	甲南大学文学部教授	A) 高等教育	9年目
3	委員	谷沢 美佐子	有限責任監査法人トーマツ シニアマネージャー、公認会計士	G) 会計士	9年目
4	委員	吉田 豊	京都大学大学院文学研究科教授	A) 高等教育	2年目
5	委員	今村 弥雪	川崎重工工業(株)人事本部ダイバーシティ・グローバル推進課課長	C) 経済界	2年目

3 評価委員会の活動(評価委員会が実施した会議、大学への視察、設立団体の長への報告等の活動)

(1) 平成25年度に実施された平成24事業年度評価に関する活動

会議等の名称	開催月	主な議題	法人側の主な参加者
第14回神戸市公立大学法人評価委員会	6月	平成24年度業務実績に関する評価の決定	理事長、理事、事務局職員
第15回神戸市公立大学法人評価委員会	7月	平成24年度業務実績に関する評価について	理事長、理事、事務局職員
評価結果の市長への報告	8月	平成24年度業務実績に関する評価の報告	理事長、理事、事務局職員

(2) 中期目標期間の評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者
第14回神戸市公立大学法人評価委員会	6月	第1期中期目標の業務実績に関する評価の決定	理事長、理事、事務局職員
第15回神戸市公立大学法人評価委員会	7月	第1期中期目標の業務実績に関する評価について	理事長、理事、事務局職員
評価結果の市長への報告	8月	第1期中期目標の業務実績に関する評価の報告	理事長、理事、事務局職員

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者
第9回神戸市公立大学法人評価委員会	11月	過去の評価結果と次期中期目標・中期計画策定の流れについて	理事長、理事、事務局職員

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法等について、以下の項目にお答えください。

		各事業年度の評価		中期目標期間の評価	
①	評価基準の有無	有・無		有・無	
②	評価結果の示し方	大項目（教育研究等の評価）	記述式・4段階・5段階 その他（ ）	記述式・4段階・5段階 その他（ ）	記述式・4段階・5段階 その他（ ）
		大項目（その他の評価）	記述式・4段階・5段階 その他（ ）	記述式・4段階・5段階 その他（ ）	記述式・4段階・5段階 その他（ ）
		小項目	記述式・4段階・5段階 その他（ ）	記述式・4段階・5段階 その他（ ）	記述式・4段階・5段階 その他（ ）
③	法人の自己評価の評点を評価委員会が修正し評価結果としたことはありますか	上方への修正	有・無	上方への修正	有・無
		下方への修正	有・無	下方への修正	有・無
④	評価結果を支援強化（弱点への資金の重点配分等）に活用することがありましたか	有 無	備考：	有 無	備考：
⑤	評価結果を支援削減（運営費交付金等）に反映させることがありましたか	有 無	備考：	有 無	備考：
⑥	評価結果をもとに法人の運営について具体的な提案を行うことがありましたか	有 無	備考：	有 無	備考：
⑦	評価結果を公立大学行政に反映させることはありましたか	有 無	備考：	有 無	備考：
⑧	④～⑦の対応を行う際に、評価委員会から意見を聴取することはありましたか	有 無	備考：	有 無	備考：
⑨	評価結果を評価委員会が設立団体の長に直接説明し意見交換を行う機会がありましたか	有 無	備考：「3 評価委員会の活動」に記載の「評価結果市長への報告」	有 無	備考：
⑩	設立団体の長による評価結果の議会への報告に際し、質疑が行われる会議（委員会等）名及び、最近の議会での主な質問項目についてお答えください	会議名（ 外郭団体に関する特別委員会 ） 報告の方法等：評価結果の製本を全議員へ配布し、委員会にて評価結果概要を説明。 質問項目：「学生の就職支援について」「海外留学の支援について」等			

(2) その他、法人評価の実施に関して、例えば評価委員会から出される要望事項等、課題があればご記入ください。

--

5 法人評価のための情報収集等について

① 以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください

○A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供され、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出される
B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
C) 法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
D) その他（ ）

② 法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

--

6 大学の教育研究の特性への配慮について

① 中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください

--

② 教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください

--

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

--

4 1 広島市

1 担当する事務部局の基本情報

① 設立している公立大学法人名	公立大学法人広島市立大学
② 公立大学担当部局名	企画総務局企画調整部企画調整課
(実際の業務にあたる職員数)	4人 ※ 課長、担当係長及び担当係員のうち1名は、他の業務との兼務である。
③ 法人評価担当部局名(②と異なる場合)	
(実際の業務にあたる職員数)	

2 評価委員会の構成

(1) 評価委員会の名称等

① 名称	広島市公立大学法人評価委員会
② 定数(委員の種別別)	5人以内
③ 任期(1期の年数と、再任、再再任等の可否)	2年(再任可。再任回数の上限無し)

(2) 評価委員会の現在の構成

	委員の種別	委員名	現職等	属性	委員の経験年数
1	委員長	平澤 洽	東京大学名誉教授	A) 高等教育	5年目
2	委員	金田 晋	広島大学名誉教授	A) 高等教育	5年目
3	委員	下中 奈美	弁護士	F) 法曹	5年目
4	委員	角廣 勲	株式会社広島銀行会長	C) 経済界	1年目
5	委員	最上 敏樹	早稲田大学教授	A) 高等教育	5年目

3 評価委員会の活動(評価委員会が実施した会議、大学への視察、設立団体の長への報告等の活動)

(1) 平成25年度に実施された平成24事業年度評価に関する活動

会議等の名称	開催月	主な議題	法人側の主な参加者
第1回広島市公立大学法人評価委員会	7月	・平成24年度業務実機に関する評価について ・平成24年度財務諸表について	理事長(学長)、学内理事(副学長2人、事務局長)
第2回広島市公立大学法人評価委員会	8月	・各事業年度における業務実績の評価について ・利益処分承認について	理事長(学長)、学内理事(副学長2人、事務局長)

(2) 中期目標期間の評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法等について、以下の項目にお答えください。

	各事業年度の評価		中期目標期間の評価	
① 評価基準の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>		有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>	
② 評価結果の示し方	大項目（教育研究等の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（評価委員の評価理由等を記載）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	
	大項目（その他の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（評価委員の評価理由等を記載）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	
	小項目	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（評価委員の評価理由等を記載）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	
③ 法人の自己評価の評点を評価委員会が修正し評価結果としたことはありますか	上方への修正	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>	上方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>
	下方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input checked="" type="checkbox"/>	下方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>
④ 評価結果を支援強化（弱点への資金の重点配分等）に活用することがありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑤ 評価結果を支援削減（運営費交付金等）に反映させることがありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑥ 評価結果をもとに法人の運営について具体的な提案を行うことがありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑦ 評価結果を公立大学行政に反映させることはありましたか	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：全体評価の結果（B以上）を利益処分の承認の基準としている。	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑧ ④～⑦の対応を行う際に、評価委員会から意見を聴取することはありましたか	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：⑦の対応の際は地方独立行政法人法第40条第5項により、意見を聴取している。	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑨ 評価結果を評価委員会が設立団体の長に直接説明し意見交換を行う機会がありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑩ 設立団体の長による評価結果の議会への報告に際し、質疑が行われる会議（委員会等）名及び、最近の議会での主な質問項目についてお答えください	会議名（平成25年度第3回広島市議会定例会（総務委員会）） 報告の方法等 上記に関連した最近の質問項目はありません。			

(2) その他、法人評価の実施に関して、例えば評価委員会から出される要望事項等、課題があればご記入ください。

5 法人評価のための情報収集等について

① 以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください

- A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供され、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出される
○B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
○C) 法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
○D) その他（ ）

② 法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

6 大学の教育研究の特性への配慮について

① 中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください

法人評価は地方独立行政法人法第79条により認証評価を踏まえることとされているが、実施時期については認証評価が7年以内、法人評価が6年となっているため、評価結果の内容に大きなタイムラグが生じる可能性がある。（例：認証評価を平成21年度末認定⇒次回は平成28年度末認定。法人評価を平成28年度内に実施する場合、平成21年度の評価内容を踏まえざるをえない。）

一方、法人評価時期にあわせる形で認証評価を前倒しで実施した場合、教育研究については同様の評価作業を実施していることから、大変非効率な作業となる。（例：認証評価を平成27年度末認定、法人評価を平成28年度内実施の場合、教育研究に係る評価作業を実質2年続けて行うことになる。）

② 教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

- ・ 中期計画期間の途中で目標が達成された項目も、次年度以降にその後の進捗状況や新たな実績が生じた場合、当該内容を法人から評価委員会に報告してもらうこととしている。
- ・ 評価委員が新たに就任した場合及び法人に新たな施設等が整備された場合等は、法人の現状を把握してもらう目的で、現地視察を兼ねた評価委員会等を、法人において実施するようにしている。

4.2 北九州市

1 担当する事務部局の基本情報

① 設立している公立大学法人名	公立大学法人 北九州市立大学
② 担当部局名 (実際の業務にあたる職員数)	産業経済局 高度人材育成課
③ 法人評価担当部局名(①と異なる場合) (実際の業務にあたる職員数)	総務企画局 行政経営室 1名

2 評価委員会の構成

(1) 評価委員会の名称等

① 名称	北九州市地方独立行政法人評価委員会
② 定数(委員の種別別)	5名
③ 任期(1期の年数と、再任、再再任等の可否)	1期 2年、再任及び再々可

(2) 評価委員会の現在の構成

	委員の種別	委員名	現職等	属性	委員の経験年数
1	委員長	石田 重森	福岡大学 名誉学長	A) 高等教育	10年目
2	委員	井上 龍子	八幡駅前開発㈱ 代表取締役社長	C) 経済界	2年目
3	委員	石松 健男	折尾愛真短期大学 教授 (元 安川情報システム㈱ 取締役社長)	A) 高等教育 C) 経済界	4年目
4	委員	姫野 由梨	姫野公認会計士事務所 公認会計士	G) 会計士	2年目
5	委員	安浦 寛人	九州大学 理事・副学長	A) 高等教育	2年目

3 評価委員会の活動(評価委員会が実施した会議、大学への視察、設立団体の長への報告等の活動)

(1) 平成25年度に実施された平成24事業年度評価に関する活動

会議等の名称	開催月	主な議題	法人側の主な参加者
平成25年度北九州市地方独立行政法人評価委員会(第1回)	H25.7	・学長との意見交換 ・平成24年度実績報告書の概要説明、質疑応答	・学長 ・副学長 ・大学事務局
平成25年度北九州市地方独立行政法人評価委員会(第2回)	H25.7	・平成24年度実績報告書の説明、質疑応答 ・平成24年度財務諸表、剰余金の繰越及び決算報告の説明、質疑応答	・副学長 ・大学事務局
平成25年度北九州市地方独立行政法人評価委員会(第3回)	H25.7	・平成24年度実績報告書に関する質疑応答 ・平成24年度財務諸表、剰余金の繰越承認について意見書の決定 ・平成24事業年度実績報告に係る評価案の検討	・大学事務局 (評価案審議の際は、退室)
平成25年度北九州市地方独立行政法人評価委員会(第4回)	H25.8	・平成24年度実績報告に対する評価案の決定 ・平成25年度計画の説明、質疑応答 ・大学業務に関する全体議論	・学長 ・副学長 ・大学事務局

(2) 中期目標期間の評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者
平成23年度北九州市地方独立行政法人評価委員会(第1回)	H23.6	・第1期中期計画及び年度ごと評価結果 報告 ・平成22年度財務諸表及び第1期中期目標期間における積立金の処分について説明 ・平成22年度実績報告及び第1期中期目標期間実績報告、質疑応答	・副学長 ・大学事務局
平成23年度北九州市地方独立行政法人評価委員会(第2回)	H23.7	・視察、学長との意見交換 ・平成22年度実績報告書及び第1期中期目標期間実績報告書の説明及び質疑応答	・学長 ・副学長 ・大学事務局
平成23年度北九州市地方独立行政法人評価委員会(第3回)	H23.7	・平成22年度実績報告書及び第1期中期目標期間実績報告書の質疑応答	・副学長 ・大学事務局
平成23年度北九州市地方独立行政法人評価委員会(第4回)	H23.7	・平成22年度実績報告及び第1期中期目標期間実績報告書の質疑応答 ・第2期中期計画及び平成23年度の年度計画の説明 ・平成22年度実績報告及び第1期中期目標期間に対する評価案の検討	・副学長 ・大学事務局
平成23年度北九州市地方独立行政法人評価委員会(第5回)	H23.8	・平成22年度実績報告及び第1期中期目標期間に対する評価案の検討 最終確認 ・大学への『評価案通知文』『評価結果通知文』、設立団体の長への『評価結果報告文』の決定	出席者なし

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者
平成20年度北九州市地方独立行政法人評価委員会(第1回)	H20.7	・学長との意見交換 ・平成19年度業務の実績報告の説明、質疑応答	・学長 ・大学事務局
平成20年度北九州	H20.7	・平成19年度実績報告書の説明、質疑応答	・大学事務局

市地方独立行政法人 評価委員会（第2回）		・平成19年度財務諸表、剰余金の繰越及び決算報告の説明、質疑応答 ・中期計画の総括と今後の取組について質疑応答	
平成20年度北九州 市地方独立行政法人 評価委員会（第3回）	H20.8	・平成19年度実績評価の実績報告書等の補足説明、質疑応答 ・平成19年度財務諸表の承認・剰余金の繰越承認 ・平成20年度計画の説明、質疑応答 ・中期計画変更の説明、質疑応答 ・中期計画変更認可の説明、質疑応答	・大学事務局
平成20年度北九州 市地方独立行政法人 評価委員会（第4回）	H20.8	・平成19年度実績報告に対する評価案の決定 ・平成19年度評価結果通知文、市長への評価結果報告文の決定 ・平成19年度財務諸表の承認、剰余金の繰越承認の意見書の決定	出席者なし

4 評価の方法とその結果の公立大学政策への活用状況について

(1) 評価の方法等について、以下の項目にお答えください。

		各事業年度の評価		中期目標期間の評価	
① 評価基準の有無		有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>		有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>	
② 評価結果 の示し方	大項目（教育研究等の評価）	記述式 <input type="checkbox"/> ・ 4段階 <input type="checkbox"/> ・ 5段階 <input type="checkbox"/>	記述式 <input type="checkbox"/> ・ 4段階 <input type="checkbox"/> ・ 5段階 <input type="checkbox"/>	記述式 <input type="checkbox"/> ・ 4段階 <input type="checkbox"/> ・ 5段階 <input type="checkbox"/>	記述式 <input type="checkbox"/> ・ 4段階 <input type="checkbox"/> ・ 5段階 <input type="checkbox"/>
	大項目（その他の評価）	記述式 <input type="checkbox"/> ・ 4段階 <input type="checkbox"/> ・ 5段階 <input type="checkbox"/>	記述式 <input type="checkbox"/> ・ 4段階 <input type="checkbox"/> ・ 5段階 <input type="checkbox"/>	記述式 <input type="checkbox"/> ・ 4段階 <input type="checkbox"/> ・ 5段階 <input type="checkbox"/>	記述式 <input type="checkbox"/> ・ 4段階 <input type="checkbox"/> ・ 5段階 <input type="checkbox"/>
	小項目	記述式 <input type="checkbox"/> ・ 4段階 <input type="checkbox"/> ・ 5段階 <input type="checkbox"/>	記述式 <input type="checkbox"/> ・ 4段階 <input type="checkbox"/> ・ 5段階 <input type="checkbox"/>	記述式 <input type="checkbox"/> ・ 4段階 <input type="checkbox"/> ・ 5段階 <input type="checkbox"/>	記述式 <input type="checkbox"/> ・ 4段階 <input type="checkbox"/> ・ 5段階 <input type="checkbox"/>
③ 法人の自己評価の評点を評価委員会が修正し評価結果としたことはありますか		上方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>	上方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>
		下方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>	下方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>
④ 評価結果を支援強化（弱点への資金の重点配分）に活用することがありましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑤ 評価結果を支援削減（運営費交付金等）に反映させることができましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑥ 評価結果をもとに法人の活動について具体的な提案を行うことができましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑦ 評価結果を設置する公立大学政策に反映させることはありましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑧ ④～⑦の対応を行う際に、評価委員会から意見を聴取しましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑨ 評価結果を評価委員会が首長に説明し意見交換を行う機会はありましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑩ 設立団体の長による評価結果の議会への報告に際し、質疑が行われる会議（委員会等）名及び、最近の議会での主な質問項目についてお答えください		会議名（北九州市議会 9月定例会） 報告の方法等 資料配布のみ。			

(2) その他、評価の実施に関して、例えば評価委員会から出される要望事項等、課題があればご記入ください。

—

5 法人評価のための情報収集等について

① 以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください

<input type="radio"/> A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供され、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出される
<input type="radio"/> B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
<input type="radio"/> C) 法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
<input type="radio"/> D) その他（ ）

② 上記の「大学ポートレート」の整備が進められていることはご存知でしたか 知っていた 知らなかった

③ 公立大学法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

—

6 大学の教育研究の特性への配慮について

① 中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育研究評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください

—

② 教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください

—

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

—

4.3 青森市

1 担当する事務部局の基本情報

① 設立している公立大学法人名	公立大学法人青森公立大学
② 公立大学担当部局名 (実際の業務にあたる職員数)	青森市市民政策部政策推進課 2名
③ 法人評価担当部局名(②と異なる場合) (実際の業務にあたる職員数)	

2 評価委員会の構成

(1) 評価委員会の名称等

① 名称	青森市地方独立行政法人評価委員会
② 定数(委員の種別別)	5名以内
③ 任期(1期の年数と、再任、再再任等の可否)	1期2年。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。 再任は可としている。

(2) 評価委員会の現在の構成

	委員の種別	委員名	現職等	属性	委員の経験年数
1	委員長	林 光男	青森商工会議所名誉会頭	C) 経済界	6年目
2	委員	山口 智之	日本銀行青森支店長	C) 経済界	1年目
3	委員	井畑 明男	株式会社青森銀行顧問(前社団法人青森県経営者協会会長)	C) 経済界	6年目
4	委員	内村 隆志	日本労働組合総連合会青森県連合会会長	労働	1年目
5	委員	馬場 忠彦	公立大学法人青森県立保健大学事務局長	A) 高等教育	1年目

3 評価委員会の活動(評価委員会が実施した会議、大学への視察、設立団体の長への報告等の活動)

(1) 平成25年度に実施された平成24事業年度評価に関する活動

会議等の名称	開催月	主な議題	法人側の主な参加者
第1回青森市地方独立行政法人評価委員会	7月	①今後のスケジュールについて ②公立大学法人青森公立大学の平成24年度業務実績報告書について ③公立大学法人青森公立大学の平成24年度財務諸表等について	理事長、学長、事務局長、事務局次長、事務局副参事
第2回青森市地方独立行政法人評価委員会	7月	①公立大学法人青森公立大学の平成24年度財務諸表の承認について ②公立大学法人青森公立大学の平成24年度剰余金の翌事業年度充当について(利益処分の承認について) ③公立大学法人青森公立大学の平成24年度業務実績評価書について	事務局長、事務局次長、事務局副参事
平成24年度業務実績評価書【報告】(市へ報告)	7月	平成24年度業務実績評価書の報告について	
平成24年度財務諸表及び剰余金の翌事業年度充当に係る承認(市へ報告)	7月	平成24年度財務諸表及び剰余金の翌事業年度充当に係る承認について	
平成24年度業務実績評価書【通知】(大学へ通知)	7月	平成24年度業務実績評価書の通知について	
第3回青森市地方独立行政法人評価委員会	2月	公立大学法人青森公立大学第2期中期目標(修正案)について	

(2) 中期目標期間の評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法等について、以下の項目にお答えください。

		各事業年度の評価		中期目標期間の評価	
① 評価基準の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>		有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>	
② 評価結果の示し方	大項目（教育研究等の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）		記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	
	大項目（その他の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）		記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	
	小項目	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）		記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	
③ 法人の自己評価の評点を評価委員会が修正し評価結果としたことはありますか		上方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input checked="" type="checkbox"/>	上方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>
		下方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input checked="" type="checkbox"/>	下方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>
④ 評価結果を支援強化（弱点への資金の重点配分等）に活用することがありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑤ 評価結果を支援削減（運営費交付金等）に反映させることがありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑥ 評価結果をもとに法人の運営について具体的な提案を行うことがありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑦ 評価結果を公立大学行政に反映させることはありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：第2期中期目標の作成の際に、意見等を考慮して作成する。	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑧ ④～⑦の対応を行う際に、評価委員会から意見を聴取することはありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：第2期中期目標の作成時に意見を聴取した。	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑨ 評価結果を評価委員会が設立団体の長に直接説明し意見交換を行う機会がありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑩ 設立団体の長による評価結果の議会への報告に際し、質疑が行われる会議（委員会等）名及び、最近の議会での主な質問項目についてお答えください		会議名（平成26年度第2回市議会定例会総括質疑） 報告の方法等 議案第118号「公立大学法人青森公立大学第二期中期目標について」			

(2) その他、法人評価の実施に関して、例えば評価委員会から出される要望事項等、課題があればご記入ください。

① 「地域に開かれた大学」から「地域をつくる大学」であることを明確化することにより、より一層市民から頼られ、親しまれる大学を目指す
② 営費交付金及び大学施設に係る市債の償還分と多額の経費を支出していることになることから、地方への貢献とともに大学経営をしっかりしていただきたい。 ⇒ 地域貢献
③ 財務力、教育力、就職力の3つの力をきちんと発揮できるような体制を構築していただきたい。 ⇒ 大学の運営体制
④ 評価方法が判りづらい。

5 法人評価のための情報収集等について

① 以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください

○A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供され、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出される
B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
C) 法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
D) その他（ ）

② 法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

公立大学法人については、企業会計に基づいて会計処理されているが、利益処分を行う際に当該会計処理の内容を精査するのが知識不足でもあり難しい。

6 大学の教育研究の特性への配慮について

① 中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください

--

② 教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください

--

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

--

4.4 秋田市

1 担当する事務部局の基本情報

① 設立している公立大学法人名	秋田公立美術大学
② 公立大学担当部局名 (実際の業務にあたる職員数)	企画財政部企画調整課公立大学法人担当 3人
③ 法人評価担当部局名(②と異なる場合) (実際の業務にあたる職員数)	

2 評価委員会の構成

(1) 評価委員会の名称等

① 名称	秋田市公立大学法人評価委員会
② 定数(委員の種別別)	5人
③ 任期(1期の年数と、再任、再再任等の可否)	任期2年、再任、再再任可

(2) 評価委員会の現在の構成

	委員の種別	委員名	現職等	属性	委員の経年数
1	委員	鑑 隆千代	秋田魁新報社読者局長兼読者交流部長	E) 報道	3年目
2	委員	小田 信之	日本銀行秋田支店長	C) 経済界	2年目
3	委員長	野田 敏明	秋田県立大学副理事長	A) 高等教育	3年目
4	委員	福士 文友	秋田商工会議所常議員 税理士法人 福士合同会計事務所 代表社員税理士	G) 会計士	1年目
5	委員	三浦 潔	秋田三菱自動車販売株式会社 代表取締役社長	C) 経済界	1年目

3 評価委員会の活動(評価委員会が実施した会議、大学への視察、設立団体の長への報告等の活動)

(1) 平成25年度に実施された平成24事業年度評価に関する活動

会議等の名称	開催月	主な議題	法人側の主な参加者
		平成25年4月に開学のため、平成25年度には年度評価は実施されておりません。	

(2) 中期目標期間の評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者
平成26年度第1回 秋田市公立大学法人 評価委員会	H26年4月	1 公立大学法人秋田公立美術大学の業務実績に係る 評価の進め方および手法について 2 経営努力認定の考え方について	なし
平成26年度第2回 秋田市公立大学法人 評価委員会	H26年7月	1 公立大学法人秋田公立美術大学平成25年度業務 実績について 2 公立大学法人秋田公立美術大学平成25年度財務 諸表について 3 秋田市公立大学法人評価委員会運営要綱について	理事長兼学長、副理事 長、理事兼副学長、理 事兼事務局長、総務課 長、学生課長、企画・ 評価室長
平成26年度第3回 秋田市公立大学法人 評価委員会	H26年8月	1 平成25年度業務実績について 2 平成25年度業務実績評価書について 3 平成25年度財務諸表および剰余金処分の承認に ついて	理事長兼学長、理事兼 事務局長、総務課長、 学生課長、企画・評価 室長
市議会議長への報告	H26年8月	公立大学法人秋田公立美術大学の平成25年度業務実 績の評価結果について	なし
市長、副市長への報告 書配付	H26年9月	公立大学法人秋田公立美術大学の平成25年度業務実 績の評価結果について	なし
大学への視察	H25年7月	評価委員会委員5人視察	

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者
		平成25年4月に開学のため、中間的な評価に関する活 動は実施されておりません。	

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法等について、以下の項目にお答えください。

		各事業年度の評価		中期目標期間の評価	
① 評価基準の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>		有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>	
② 評価結果の示し方	大項目（教育研究等の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）		記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）	
	大項目（その他の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）		記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）	
	小項目	記述式 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 4段階 ・ 5段階 その他（ ）		記述式 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	
③ 法人の自己評価の評点を評価委員会が修正し評価結果としたことはありますか		上方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input checked="" type="checkbox"/>	上方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		下方への修正	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>	下方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input checked="" type="checkbox"/>
④ 評価結果を支援強化（弱点への資金の重点配分等）に活用することがありましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：平成25年4月に開学のため、なし。	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：平成25年4月に開学のため、なし。
⑤ 評価結果を支援削減（運営費交付金等）に反映させることがありましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：平成25年4月に開学のため、なし。	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：平成25年4月に開学のため、なし。
⑥ 評価結果をもとに法人の運営について具体的な提案を行うことがありましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：平成25年4月に開学のため、なし。	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：平成25年4月に開学のため、なし。
⑦ 評価結果を公立大学行政に反映させることはありましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：平成25年4月に開学のため、なし。	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：平成25年4月に開学のため、なし。
⑧ ④～⑦の対応を行う際に、評価委員会から意見を聴取することはありましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：平成25年4月に開学のため、なし。	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：平成25年4月に開学のため、なし。
⑨ 評価結果を評価委員会が設立団体の長に直接説明し意見交換を行う機会がありましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：平成25年4月に開学のため、なし。	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：平成25年4月に開学のため、なし。
⑩ 設立団体の長による評価結果の議会への報告に際し、質疑が行われる会議（委員会等）名及び、最近の議会での主な質問項目についてお答えください		会議名（総務委員会） 報告の方法等 文書			

(2) その他、法人評価の実施に関して、例えば評価委員会から出される要望事項等、課題があればご記入ください。

なし

5 法人評価のための情報収集等について

① 以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください

<input type="radio"/> A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供され、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出される
<input type="radio"/> B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
<input type="radio"/> C) 法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
<input type="radio"/> D) その他（ ）

② 法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

なし

6 大学の教育研究の特性への配慮について

① 中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください

なし

② 教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください

なし

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

なし

45 高崎市

1 担当する事務部局の基本情報

① 設立している公立大学法人名	高崎経済大学
② 公立大学担当部局名	総務部
(実際の業務にあたる職員数)	4人
③ 法人評価担当部局名(②と異なる場合)	
(実際の業務にあたる職員数)	

2 評価委員会の構成

(1) 評価委員会の名称等

① 名称	高崎市公立大学法人評価委員会
② 定数(委員の種別別)	5人
③ 任期(1期の年数と、再任、再再任等の可否)	2年

(2) 評価委員会の現在の構成

	委員の種別	委員名	現職等	属性	委員の経験年数
1	委員長	八木 議廣	会社役員	C) 経済界	1年目
2	委員	細谷 可祝	会社役員	C) 経済界	4年目
3	委員	清水 英也	税理士	C) 経済界	4年目
4	委員	鈴木 守	元大学学長	A) 高等教育	4年目
5	委員	仙波 憲一	大学学長	A) 高等教育	1年目

3 評価委員会の活動(評価委員会が実施した会議、大学への視察、設立団体の長への報告等の活動)

(1) 平成25年度に実施された平成24事業年度評価に関する活動

会議等の名称	開催月	主な議題	法人側の主な参加者
高崎市公立大学法人評価委員会	8月	(1) 平成24年度業務実績に関する評価について (2) 平成24事業年度財務諸表の承認に係る意見について (3) 平成24年度剰余金の使途の承認に係る意見について	理事長、学長、副学長、事務局長
高崎市公立大学法人評価委員会	9月	(1) 平成24年度業務実績に関する評価結果について	学長、事務局長

(2) 中期目標期間の評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法等について、以下の項目にお答えください。

		各事業年度の評価		中期目標期間の評価	
① 評価基準の有無		有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		有 ・ 無	
② 評価結果の示し方	大項目（教育研究等の評価）	<input checked="" type="checkbox"/> 記述式	・ 4段階 ・ 5段階	記述式	・ 4段階 ・ 5段階
		その他（ ）		その他（ ）	
	大項目（その他の評価）	<input checked="" type="checkbox"/> 記述式	・ 4段階 ・ 5段階	記述式	・ 4段階 ・ 5段階
		その他（ ）		その他（ ）	
	小項目	<input checked="" type="checkbox"/> 記述式	・ 4段階 ・ 5段階	記述式	・ 4段階 ・ 5段階
		その他（ ）		その他（ ）	
③ 法人の自己評価の評点を評価委員会が修正し評価結果としたことはありますか		上方への修正	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	上方への修正	有 ・ 無
		下方への修正	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	下方への修正	有 ・ 無
④ 評価結果を支援強化（弱点への資金の重点配分等）に活用することがありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：	有 無	備考：
⑤ 評価結果を支援削減（運営費交付金等）に反映させることがありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：直接の反映に結びつけてはいないが、評価結果を踏まえた対応を心掛けている。	有 無	備考：
⑥ 評価結果をもとに法人の運営について具体的な提案を行うことがありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：計画進行状況の適正化等を行っている。	有 無	備考：
⑦ 評価結果を公立大学行政に反映させることはありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：大学法人の活動の周知等を行っている。	有 無	備考：
⑧ ④～⑦の対応を行う際に、評価委員会から意見を聴取することはありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：基本的に評価委員の意見を集約したものが評価結果なので、改めて意見聴取はしない。	有 無	備考：
⑨ 評価結果を評価委員会が設立団体の長に直接説明し意見交換を行う機会がありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：評価結果の通知は、委員長が長に面会して行っている。	有 無	備考：
⑩ 設立団体の長による評価結果の議会への報告に際し、質疑が行われる会議（委員会等）名及び、最近の議会での主な質問項目についてお答えください		会議名（ ） 評価結果は、正副議長に内容を報告した後、全議員に報告書を配付するのみとしている。			

(2) その他、法人評価の実施に関して、例えば評価委員会から出される要望事項等、課題があればご記入ください。

5 法人評価のための情報収集等について

① 以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください

- A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供され、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出される
 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
 C) 法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
 D) その他（ ）

② 法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

6 大学の教育研究の特性への配慮について

① 中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください

② 教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください

認証評価を踏まえて評価委員会の評価を行うが、その評価結果を次期中期目標に反映させることは困難。年度評価では中期目標全体の進捗等は計りにくく、PDCAをどのように回していくのかは課題と考えている。

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

4.6 前橋市

1 担当する事務部局の基本情報

① 設立している公立大学法人名	公立大学法人前橋工科大学
② 公立大学担当部局名 (実際の業務にあたる職員数)	総務部行政管理課 1人(担当者)
③ 法人評価担当部局名(②と異なる場合) (実際の業務にあたる職員数)	

2 評価委員会の構成

(1) 評価委員会の名称等

① 名称	前橋市公立大学法人評価委員会
② 定数(委員の種別別)	6人以内
③ 任期(1期の年数と、再任、再再任等の可否)	2人、再任可

(2) 評価委員会の現在の構成

	委員の種別	委員名	現職等	属性	委員の経験年数
1	委員長	白井委員長	元群馬大学理事・副学長 前橋工科大学外部評価委員会委員長	A) 高等教育	3年目
2	委員	鮎澤委員	関東精機株式会社取締役社長 前橋商工会議所常議員	C) 経済界	3年目
3	委員	小島委員	池下工業株式会社代表取締役 前橋商工会議所常議員	C) 経済界	3年目
4	委員	澤口委員	税理士 関東信越税理士会前橋支部	G) 会計士	3年目
5	委員	富山委員	群馬大学社会情報学部教授	A) 高等教育	3年目
6	委員	平田委員	共愛学園前橋国際大学学長	A) 高等教育	3年目

3 評価委員会の活動(評価委員会が実施した会議、大学への視察、設立団体の長への報告等の活動)

(1) 平成25年度に実施された平成24事業年度評価に関する活動

⇒平成25年度に法人化したため、平成25事業年度評価に関する平成26年度実績(H26.11時点)を参考記載

会議等の名称	開催月	主な議題	法人側の主な参加者
平成26年第1回前橋市公立大学法人評価委員会	7月	・委員長の選出 ・年度業務実績評価の考え方について ・平成25年業務実績に関する報告について ・平成25年度決算に関する報告について ・利益処分の考え方について	事務局長、事務局総務課長、事務局学務課長ほか
平成26年第1回前橋市公立大学法人評価委員会	9月	・年度業務実績に関する評価報告書(案)について ・財務諸表及び利益処分の承認について	事務局長、事務局総務課長、事務局学務課長ほか
評価結果の法人への通知	10月	結果の通知(文書)	
評価結果の市長への報告	10月	結果の報告(文書)	

(2) 中期目標期間の評価に関する活動

⇒実施事例なし

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する活動

⇒実施事例なし

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法等について、以下の項目にお答えください。

⇒中期目標機関の評価に関しては実施事例なし

		各事業年度の評価		中期目標期間の評価	
①	評価基準の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無		有 ・ 無	
②	評価結果の示し方	大項目（教育研究等の評価）	記述式 ・ 4段階 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階	
		大項目（その他の評価）	記述式 ・ 4段階 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階	
		小項目	記述式 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 4段階 ・ 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階	
③	法人の自己評価の評点を評価委員会が修正し評価結果としたことはありますか	上方への修正 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 ※適切な評価はこうあるべきとする意見		上方への修正 有 ・ 無	
		下方への修正 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 ※適切な評価はこうあるべきとする意見		下方への修正 有 ・ 無	
④	評価結果を支援強化（弱点への資金の重点配分等）に活用することがありましたか	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：必要に応じて今後実施	有 無	備考：
⑤	評価結果を支援削減（運営費交付金等）に反映させることがありましたか	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：必要に応じて今後実施	有 無	備考：
⑥	評価結果をもとに法人の運営について具体的な提案を行うことがありましたか	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：評価の進め方について今後協議予定	有 無	備考：
⑦	評価結果を公立大学行政に反映させることはありましたか	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：必要に応じて今後実施	有 無	備考：
⑧	④～⑦の対応を行う際に、評価委員会から意見を聴取することはありましたか	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：利益処分の方等について意見聴取を行った	有 無	備考：
⑨	評価結果を評価委員会が設立団体の長に直接説明し意見交換を行う機会がありましたか	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：必要に応じて今後実施	有 無	備考：
⑩	設立団体の長による評価結果の議会への報告に際し、質疑が行われる会議（委員会等）名及び、最近の議会での主な質問項目についてお答えください	会議名（総務常任委員会） 報告の方法等 資料の配布及び概要の説明。委員会では評価結果報告の具体的な内容・データに関する質問がなされた。			

(2) その他、法人評価の実施に関して、例えば評価委員会から出される要望事項等、課題があればご記入ください。

現在のところ、特別な課題はない。

評価委員会から出された意見を踏まえ、設立団体としての対応のあり方を検討している。

5 法人評価のための情報収集等について

① 以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください

- A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供され、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出される
 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
 C) 法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
 D) その他（ ）

② 法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

事業報告書は大学運営全般に関する個別具体的な報告となるため、参考情報までを加えると情報量が非常に多くなってしまい、要点を捉えた評価の議論が進みにくい面がある。

6 大学の教育研究の特性への配慮について

① 中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください

中期目標機関の評価に関しては実施事例なし。

② 教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください

教育研究に関する評価は、専門性の高さがゆえの評価の難しさがあるが、一方では、公立大学運営に関して市民への説明責任を確保する必要がある。有識者による適切な評価を行うことはもちろん、大学運営のどの部分が順調で、どの部分に課題があるのかなど、評価結果を分かりやすく開示していくことが重要であると考えている。

（※法人化後の認証評価はまだ行われていない）

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

今年度において初めての年度評価を行った状況であるため、現時点では特別な取組は行っていない。今後、評価委員会の意見などを踏まえながら、必要な取組を随時検討・実施する。

4.7 金沢市

1 担当する事務部局の基本情報

① 設立している公立大学法人名	金沢美術工芸大学
② 担当部局名	総務局総務課
(実際の業務にあたる職員数)	1名
③ 法人評価担当部局名(①と異なる場合)	
(実際の業務にあたる職員数)	

2 公立大学法人を評価する評価委員会の構成

(1) 評価委員会の名称等

① 名称	金沢市公立大学法人評価委員会
② 定数(委員の種別別)	5名
③ 任期(1期の年数と、再任、再再任等の可否)	1期2年 再再任可(ただし70歳まで)

(2) 評価委員会の現在の構成

	委員の種別	委員名	現職等	属性	委員の経験年数
1	委員長	樫見 由美子	金沢大学法科大学院教授	A) 高等教育	5年目
2	委員	早田 幸政	中央大学大学院公共政策研究科教授	A) 高等教育	5年目
3	委員	福光 松太郎	株式会社福光屋 代表取締役社長	C) 経済界	5年目
4	委員	林 幹二	公認会計士	G) 会計士	5年目
5	委員	雪山 行二	富山県立近代美術館館長	芸術専門家	5年目

3 評価委員会の活動(評価委員会が実施した会議、大学への視察、設立団体の長への報告等の活動)

(1) 平成25年度に実施された平成24事業年度評価に関する活動

会議等の名称	開催月	主な議題	法人側の主な参加者
業務実績報告書事前説明	6月	各評価委員に対する説明	事務局長、事務局次長
第1回公立大学法人評価委員会	7月	業務実績小項目評価	理事長、理事、教育研究審議会委員、事務局長、事務局次長
評価意見書(案)・財務諸表事前説明	7月	各評価委員に対する説明	—
第2回公立大学法人評価委員会	8月	評価意見書、財務諸表、利益処分(案)審議	—
設立団体の長への報告	8月	評価意見書説明	

(2) 中期目標期間の評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者

4 評価の方法とその結果の公立大学政策への活用状況について

(1) 評価の方法等について、以下の項目にお答えください。

	各事業年度の評価		中期目標期間の評価	
① 評価基準の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無		有 ・ 無	
② 評価結果の示し方	大項目（教育研究等の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）	
	大項目（その他の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）	
	小項目	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）	
③ 法人の自己評価の評点を評価委員会が修正し評価結果としたことはありますか	上方への修正	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	上方への修正	有 ・ 無
	下方への修正	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	下方への修正	有 ・ 無
④ 評価結果を支援強化（弱点への資金の重点配分）に活用することがありましたか	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：	有 無	備考：
⑤ 評価結果を支援削減（運営費交付金等）に反映させることがありましたか	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：	有 無	備考：
⑥ 評価結果をもとに法人の活動について具体的な提案を行うことがありましたか	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：	有 無	備考：
⑦ 評価結果を設置する公立大学政策に反映させることはありましたか	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：	有 無	備考：
⑧ ④～⑦の対応を行う際に、評価委員会から意見を聴取しましたか	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：	有 無	備考：
⑨ 評価結果を評価委員会が首長に説明し意見交換を行う機会がありましたか	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：	有 無	備考：
⑩ 設立団体の長による評価結果の議会への報告に際し、質疑が行われる会議（委員会等）名及び、最近の議会での主な質問項目についてお答えください	会議名（平成25年9月定例会） 報告の方法等			

(2) その他、評価の実施に関して、例えば評価委員会から出される要望事項等、課題があればご記入ください。

5 法人評価のための情報収集等について

① 以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください

- A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供され、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出される
 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
 C) 法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
 D) その他（ ）

② 上記の「大学ポートレート」の整備が進められていることはご存知でしたか

知っていた 知らなかった

③ 公立大学法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

6 大学の教育研究の特性への配慮について

① 中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育研究評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください

② 教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

48 下関市

1 担当する事務部局の基本情報

① 設立している公立大学法人名	公立大学法人下関市立大学
② 担当部局名	総務部総務課
(実際の業務にあたる職員数)	1名
③ 法人評価担当部局名(①と異なる場合)	
(実際の業務にあたる職員数)	

2 評価委員会の構成

(1) 評価委員会の名称等

① 名称	下関市公立大学法人評価委員会
② 定数(委員の種別別)	5人以内(臨時委員:若干人を置くことができる)
③ 任期(1期の年数と、再任、再再任等の可否)	2年、再任可(回数及び年数等制限なし)

(2) 評価委員会の現在の構成

	委員の種別	委員名	現職等	属性	委員の経験年数
1	委員長	野口政弘	元高等学校校長	A) 高等教育	9年目
2	委員	江里健輔	公立大学法人山口県立大学 理事長	A) 高等教育	1年目
3	委員	中野忠治	公益財団法人下関市文化振興財団 理事長	H) 自治体行政	6年目
4	委員	岡田健	税理士法人維新 専務取締役(税理士)	G) 会計士	4年目
5	委員	冷泉憲一	下関商工会議所 専務理事	C) 経済界 H) 自治体行政	4年目

3 評価委員会の活動

(1) 平成25年度に実施された平成24事業年度評価に関し、評価委員会が実施した会議、大学への視察※1、設立団体の長への報告等の活動についてご記入ください。

会議等の名称※2	開催月	主な議題	法人側の主な参加者
平成25年度第1回	7月	○年度評価	理事長・学長・学部長・事務局長 事務局職員
平成25年度第2回	7月	○年度評価	〃
平成25年度第3回	7月	○年度評価 ○役員報酬の支給基準の一部変更	〃
平成25年度第4回	7月	○年度評価に係る「評価結果書(原案)」 ○財務諸表等の承認	〃

(2) 中期目標期間の評価に関する活動

会議等の名称※2	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者
平成25年度第5回	平成25年7月	○中期目標期間における評価	理事長・学長・学部長・事務局長 事務局職員
平成25年度第6回	平成25年7月	○中期目標期間における評価	〃
平成25年度第7回	平成25年8月	○中期目標期間における評価	〃
平成25年度第8回	平成25年8月	○中期目標期間における評価 ○地方独立行政法人法第40条第4項の規定に基づく承認	〃
平成25年度第9回	平成25年8月	○中期目標期間に係る「評価結果書(原案)」	〃

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する活動

会議等の名称※2	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者
平成23年度第5回	平成23年8月	○「中間実績報告書」に係る中間評価 ○第2期中期目標・計画の策定に係る「評価委員会意見書(案)」	理事長・学長・学部長・事務局長 事務局職員

※1 評価委員会の会議は基本的には大学施設内において開催している。

なお、平成21年度より他大学への視察を実施している。

※2 会議等の名称は、平成〇〇年第〇回の後に「下関市公立大学法人評価委員会」が付く。

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法等について、以下の項目にお答えください。

	各事業年度の評価		中期目標期間の評価	
① 評価基準の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>		有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>	
② 評価結果の示し方	大項目（教育研究等の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）	
	大項目（その他の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）	
	小項目	記述式 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	記述式 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	
③ 法人の自己評価の評点を評価委員会が修正し評価結果としたことはありますか	上方への修正	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>	上方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input checked="" type="checkbox"/>
	下方への修正	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>	下方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input checked="" type="checkbox"/>
④ 評価結果を支援強化（弱点への資金の重点配分等）に活用することがありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：
⑤ 評価結果を支援削減（運営費交付金等）に反映させることがありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：
⑥ 評価結果をもとに法人の運営について具体的な提案を行うことがありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：
⑦ 評価結果を公立大学行政に反映させることはありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：
⑧ ④～⑦の対応を行う際に、評価委員会から意見を聴取することはありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：
⑨ 評価結果を評価委員会が設立団体の長に直接説明し意見交換を行う機会がありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：
⑩ 設立団体の長による評価結果の議会への報告に際し、質疑が行われる会議（委員会等）名及び、最近の議会での主な質問項目についてお答えください	会議名（第3回定例会（総務委員会）） 報告の方法等 ○ 第1期中期目標期間に係る業務実績に関する評価結果書の報告において、質問ではなく「第1期中期目標期間に係る業務実績評価をして、PDCAサイクルを回し、第2期の中期目標につなげて欲しい」との意見があった。			

(2) その他、法人評価の実施に関して、例えば評価委員会から出される要望事項等、課題があればご記入ください。

5 法人評価のための情報収集等について

① 以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください

○A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供され、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出される
B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
C) 法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
D) その他（ ）

② 法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

<ul style="list-style-type: none"> 事業年度ごとの業務実績評価については、法人から提出される業務実績報告書の内容を事務局においても精査し、評価に必要と考えられる資料等を事前に法人から取得し、配布している。 一般的な法人評価のための情報収集については、先行する公立大学法人及び当該設置団体HP等にて収集し、必要があれば直接問い合わせしている。

6 大学の教育研究の特性への配慮について

① 中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください

・ 特に問題なし

② 教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください

<ul style="list-style-type: none"> 認証評価は「5年以内」ごと、公立大学法人の中期目標期間は「6年」ごとに認証・評価するため、認証評価を2度受ける中期目標期間が生じることになる。 その結果、「先に受けた認証評価の結果を軽視し、後に受ける認証評価を重視する」というような状況、もしくは「どちらを重視すればよいのか」といった議論が生じると推察される。 認証評価についても「6年以内」ごとに受けるように改め、その時期については中期目標期間の2年目若しくは3年目とすることで次の中期目標若しくは計画の策定に有効活用できると考える。

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

<ul style="list-style-type: none"> H21年度から法人評価の比較対象となる公立大学（H25年度は私立大学）を毎年2校程度視察している。 本年度、年度評価の審議等終了後、法人との間で意見交換会を開催した。
--

49 宮崎市

1 担当する事務部局の基本情報

① 設立している公立大学法人名	宮崎公立大学
② 担当部局名	企画財政部企画政策課
(実際の業務にあたる職員数)	1名
③ 法人評価担当部局名(①と異なる場合)	
(実際の業務にあたる職員数)	

2 公立大学法人を評価する評価委員会の構成

(1) 評価委員会の名称等

① 名称	宮崎市公立大学法人評価委員会
② 定数(委員の種別別)	5名
③ 任期(1期の年数と、再任、再再任等の可否)	2年、再任可

(2) 評価委員会の現在の構成

	委員の種別	委員名	現職等	属性	委員の経験年数
1	委員長	山田 利博	大学教授	A) 高等教育	2年目
2	委員	西立野 康弘	高等学校校長	A) 高等教育	1年目
3	委員	倉掛 正志	宮崎商工会議所専務理事	C) 経済界	2年目
4	委員	酒井 春江	社会保険労務士	C) 経済界	2年目
5	委員	鳥原 浩二	宮崎太陽銀行常任監査役	C) 経済界	2年目

3 評価委員会の活動(評価委員会が実施した会議、大学への視察、設立団体の長への報告等の活動)

(1) 平成25年度に実施された平成24事業年度評価に関する活動

会議等の名称	開催月	主な議題	法人側の主な参加者
第1回評価委員会	7月	平成25事業年度の財務諸表に対する意見	担当部長以下4名
第2回評価委員会	7月	平成25事業年度の業務実績の評価	担当課長以下3名
第3回評価委員会	8月	平成25事業年度の業務実績の評価(最終)	担当課長以下3名

(2) 中期目標期間の評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者
平成25年度第1回評価委員会	7月	第1期中期目標期間の業務実績の評価	担当部長以下4名
平成25年度第2回評価委員会	7月	第1期中期目標期間の業務実績の評価	担当部長以下4名
平成25年度第3回評価委員会	8月	第1期中期目標期間の業務実績の評価(最終)	担当部長以下4名

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者
なし			

4 評価の方法とその結果の公立大学政策への活用状況について

(1) 評価の方法等について、以下の項目にお答えください。

		各事業年度の評価		中期目標期間の評価	
① 評価基準の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無		有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	
② 評価結果の示し方	大項目（教育研究等の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階
	大項目（その他の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階
	小項目	記述式 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 4段階 ・ 5段階	記述式 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 4段階 ・ 5段階	記述式 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 4段階 ・ 5段階	記述式 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 4段階 ・ 5段階
③ 法人の自己評価の評点を評価委員会が修正し評価結果としたことはありますか		上方への修正	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	上方への修正	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
		下方への修正	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	下方への修正	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
④ 評価結果を支援強化（弱点への資金の重点配分）に活用することがありましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑤ 評価結果を支援削減（運営費交付金等）に反映させることができましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑥ 評価結果をもとに法人の活動について具体的な提案を行うことができましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑦ 評価結果を設置する公立大学政策に反映させることはありましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑧ ④～⑦の対応を行う際に、評価委員会から意見を聴取しましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑨ 評価結果を評価委員会が首長に説明し意見交換を行う機会はありましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑩ 設立団体の長による評価結果の議会への報告に際し、質疑が行われる会議（委員会等）名及び、最近の議会での主な質問項目についてお答えください		会議名（ ） 報告の方法等 9月の定例会市議会に報告議案として提案し、本会議の場で質疑を受ける。 最近の議会での質疑は特になし。			

(2) その他、評価の実施に関して、例えば評価委員会から出される要望事項等、課題があればご記入ください。

特になし。

5 法人評価のための情報収集等について

① 以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください

- A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供され、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出される
 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
 C) 法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
 D) その他（ ）

② 上記の「大学ポートレート」の整備が進められていることはご存知でしたか

知っていた

 知らなかった

③ 公立大学法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

特になし

6 大学の教育研究の特性への配慮について

① 中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育研究評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください

特になし

② 教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください

教育研究に関する評価は、長期的な努力が必要とされる部分があり、年度内評価が困難な部分がある。

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

特になし

50 長岡市

1 担当する事務部局の基本情報

① 設立している公立大学法人名	公立大学法人長岡造形大学
② 公立大学担当部局名 (実際の業務にあたる職員数)	市長政策室 政策企画課 2人
③ 法人評価担当部局名(②と異なる場合) (実際の業務にあたる職員数)	

2 評価委員会の構成

(1) 評価委員会の名称等

① 名称	長岡市公立大学法人評価委員会
② 定数(委員の種別別)	5人以内
③ 任期(1期の年数と、再任、再再任等の可否)	2年、再任可

(2) 評価委員会の現在の構成

	委員の種別	委員名	現職等	属性	委員の経験年数
1	委員長代理			C) 経済界	1年目
2	委員			F) 法曹 G) 会計士	1年目
3	委員			C) 経済界	1年目
4	委員			D)	1年目

3 評価委員会の活動(評価委員会が実施した会議、大学への視察、設立団体の長への報告等の活動)

(1) 平成25年度に実施された平成24事業年度評価に関する活動

会議等の名称	開催月	主な議題	法人側の主な参加者
第1回長岡市公立大学法人評価委員会	12月	委員長の選出及び委員長代理の指名、公立大学法人制度の概要、長岡造形大学の概要、公立大学法人評価委員会について、中期目標案について	
第2回長岡市公立大学法人評価委員会	1月	中期目標案について、中期計画案について	常務理事、事務局長

(2) 中期目標期間の評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法等について、以下の項目にお答えください。

		各事業年度の評価		中期目標期間の評価		
① 評価基準の有無		有 ・ 無		有 ・ 無		
② 評価結果の示し方	大項目（教育研究等の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）				
	大項目（その他の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）				
	小項目	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）				
③ 法人の自己評価の評点を評価委員会が修正し評価結果としたことはありますか		上方への修正	有 ・ 無	上方への修正	有 ・ 無	
		下方への修正	有 ・ 無	下方への修正	有 ・ 無	
④ 評価結果を支援強化（弱点への資金の重点配分等）に活用することがありましたか	有 無	備考：		有 無	備考：	
⑤ 評価結果を支援削減（運営費交付金等）に反映させることができましたか	有 無	備考：		有 無	備考：	
⑥ 評価結果をもとに法人の運営について具体的な提案を行うことができましたか	有 無	備考：		有 無	備考：	
⑦ 評価結果を公立大学行政に反映させることはありましたか	有 無	備考：		有 無	備考：	
⑧ ④～⑦の対応を行う際に、評価委員会から意見を聴取することはありましたか	有 無	備考：		有 無	備考：	
⑨ 評価結果を評価委員会が設立団体の長に直接説明し意見交換を行う機会がありましたか	有 無	備考：		有 無	備考：	
⑩ 設立団体の長による評価結果の議会への報告に際し、質疑が行われる会議（委員会等）名及び、最近の議会での主な質問項目についてお答えください	会議名（ ） 報告の方法等					

(2) その他、法人評価の実施に関して、例えば評価委員会から出される要望事項等、課題があればご記入ください。

・現在、評価基準や手法について検討中

5 法人評価のための情報収集等について

① 以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください

A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供され、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出される
B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
C) 法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
○D) その他（情報収集の仕組みはない）

② 法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

6 大学の教育研究の特性への配慮について

① 中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください

② 教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

5 1 都留市

1 担当する事務部局の基本情報

① 設立している公立大学法人名	公立大学法人 都留文科大学
② 公立大学担当部局名 (実際の業務にあたる職員数)	都留市役所総務部政策形成課 3
③ 法人評価担当部局名(②と異なる場合) (実際の業務にあたる職員数)	

2 評価委員会の構成

(1) 評価委員会の名称等

① 名称	都留市公立大学法人評価委員会
② 定数(委員の種別別)	5名以内
③ 任期(1期の年数と、再任、再再任等の可否)	任期2年 再任可

(2) 評価委員会の現在の構成

	委員の種別	委員名	現職等	属性	委員の経験年数
1	委員長	原 護	きさらぎ監査法人 顧問		2年目
2	委員(職務代理)	早川 源	(財)山梨総合研究所 副理事長		7年目
3	委員	鶴川 正樹	青山学院大学大学院特任教授/博士(会計学)		2年目
4	委員	加賀 公英	(株)文理学院代表取締役理事長		1年目
5	委員	小林 孝次	都留市教育委員会 委員長		1年目

3 評価委員会の活動(評価委員会が実施した会議、大学への視察、設立団体の長への報告等の活動)

(1) 平成25年度に実施された平成24事業年度評価に関する活動

会議等の名称	開催月	主な議題	法人側の主な参加者
都留市公立大学法人評価委員会(1回のみ)	8月	平成23年度評価を反映した事業改善等の状況について 平成24年度法人の業務実績に関する評価について 平成24年度財務諸表の承認にかかる意見について 平成24年度利益処分承認にかかる意見について	学長・副学長 事務局長・事務局次長 課長・課長補佐 事務職員
公立大学法人都留文科大学の平成24年度に係る業務の実績に関する評価の結果について(報告)	8月	名称のとおり	

(2) 中期目標期間の評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者
都留市公立大学法人評価委員会(第1回)	H26.8月	第1期中期目標期間における中間評価実施要領(案)について	学長・副学長・事務局長 課長・課長補佐・事務職員
都留市公立大学法人評価委員会(第2回)	H26.8月	第1期中期目標期間における中間評価(案)について	副学長・事務局長 課長・課長補佐
公立大学法人都留文科大学の第1期中期目標期間に係る業務の実績に関する中間評価の結果について(報告)	H26.8月	名称のとおり	

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法等について、以下の項目にお答えください。

		各事業年度の評価		中期目標期間の評価	
① 評価基準の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無		有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	
② 評価結果の示し方	大項目（教育研究等の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）		記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）	
	大項目（その他の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）		記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）	
	小項目	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）		記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階 その他（ ）	
③ 法人の自己評価の評点を評価委員会が修正し評価結果としたことはありますか		上方への修正	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	上方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		下方への修正	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	下方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input checked="" type="checkbox"/>
④ 評価結果を支援強化（弱点への資金の重点配分等）に活用することがありましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：
⑤ 評価結果を支援削減（運営費交付金等）に反映させることがありましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：
⑥ 評価結果をもとに法人の運営について具体的な提案を行うことがありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：第2期中期目標に評価委員会の意見を反映	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：
⑦ 評価結果を公立大学行政に反映させることはありましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：
⑧ ④～⑦の対応を行う際に、評価委員会から意見を聴取することはありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：
⑨ 評価結果を評価委員会が設立団体の長に直接説明し意見交換を行う機会がありましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：
⑩ 設立団体の長による評価結果の議会への報告に際し、質疑が行われる会議（委員会等）名及び、最近の議会での主な質問項目についてお答えください		会議名（9月定例会） 報告の方法等 書面での報告			

(2) その他、法人評価の実施に関して、例えば評価委員会から出される要望事項等、課題があればご記入ください。

5 法人評価のための情報収集等について

① 以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください

- A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供され、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出される
 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
 C) 法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
 D) その他（ ）

② 法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

6 大学の教育研究の特性への配慮について

① 中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください

② 教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

5 2 敦賀市

1 担当する事務部局の基本情報

① 設立している公立大学法人名	公立大学法人敦賀市立看護大学
② 公立大学担当部局名 (実際の業務にあたる職員数)	敦賀市企画政策部政策推進課 1人
③ 法人評価担当部局名(②と異なる場合) (実際の業務にあたる職員数)	

2 評価委員会の構成

(1) 評価委員会の名称等

① 名称	敦賀市公立大学法人評価委員会
② 定数(委員の種別別)	5人以内
③ 任期(1期の年数と、再任、再再任等の可否)	2年、再任可

(2) 評価委員会の現在の構成

	委員の種別	委員名	現職等	属性	委員の経験年数
1	委員長	青海 忠久	福井県立大学副学長	A) 高等教育	1年目
2	委員	奥井 隆	敦賀商工会議所副会頭	C) 経済界	1年目
3	委員	靄田 義孝	元敦賀市収入役	H) 自治体行政	1年目
4	委員	樋村 禎子	福井県看護協会会長	D) 医療・看護・保健	1年目
5	委員	安久 彰	公認会計士	G) 会計士	1年目

3 評価委員会の活動(評価委員会が実施した会議、大学への視察、設立団体の長への報告等の活動)

(1) 平成25年度に実施された平成24事業年度評価に関する活動

会議等の名称	開催月	主な議題	法人側の主な参加者

(2) 中期目標期間の評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法等について、以下の項目にお答えください。

	各事業年度の評価		中期目標期間の評価	
① 評価基準の有無 ※規程等をご提供ください（提供資料2）	有 ・ 無		有 ・ 無	
② 評価結果の示し方	大項目（教育研究等の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）
	大項目（その他の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）
	小項目	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）
③ 法人の自己評価の評点を評価委員会が修正し評価結果としたことはありますか	上方への修正	有 ・ 無	上方への修正	有 ・ 無
	下方への修正	有 ・ 無	下方への修正	有 ・ 無
④ 評価結果を支援強化（弱点への資金の重点配分等）に活用することがありましたか	有 無	備考：	有 無	備考：
⑤ 評価結果を支援削減（運営費交付金等）に反映させることができましたか	有 無	備考：	有 無	備考：
⑥ 評価結果をもとに法人の運営について具体的な提案を行うことができましたか	有 無	備考：	有 無	備考：
⑦ 評価結果を公立大学行政に反映させることはありましたか	有 無	備考：	有 無	備考：
⑧ ④～⑦の対応を行う際に、評価委員会から意見を聴取することはありましたか	有 無	備考：	有 無	備考：
⑨ 評価結果を評価委員会が設立団体の長に直接説明し意見交換を行う機会がありましたか	有 無	備考：	有 無	備考：
⑩ 設立団体の長による評価結果の議会への報告に際し、質疑が行われる会議（委員会等）名及び、最近の議会での主な質問項目についてお答えください	会議名（ ） 報告の方法等			

② その他、法人評価の実施に関して、例えば評価委員会から出される要望事項等、課題があればご記入ください。

・現在、評価基準や手法について検討中

5 法人評価のための情報収集等について

① 以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください

- A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供され、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出される
 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
 C) 法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
 D) その他（ ）

② 法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

6 大学の教育研究の特性への配慮について

① 中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください

② 教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

5.3 新見市

1 担当する事務部局の基本情報

① 設立している公立大学法人名	地方独立行政法人新見公立大学
② 公立大学担当部局名	総務課
(実際の業務にあたる職員数)	2
③ 法人評価担当部局名(②と異なる場合)	
(実際の業務にあたる職員数)	

2 評価委員会の構成

(1) 評価委員会の名称等

① 名称	新見市地方独立行政法人評価委員会
② 定数(委員の種別別)	5人以内
③ 任期(1期の年数と、再任、再再任等の可否)	1期2年、再任可

(2) 評価委員会の現在の構成

	委員の種別	委員名	現職等	属性	委員の経験年数
1	委員長	新中 淑弘	前新見商工会議所会頭	C) 経済界	8年目
2	委員	森口 忠士	税理士	税理士	4年目
3	委員	杉 紀子	元小学校長	B) 初等中等教育	2年目

3 評価委員会の活動(評価委員会が実施した会議、大学への視察、設立団体の長への報告等の活動)

(1) 平成25年度に実施された平成24事業年度評価に関する活動

会議等の名称	開催月	主な議題	法人側の主な参加者
新見市地方独立行政法人評価委員会(第1回)	7月	平成24年度実績報告書及び財務諸表の評価等について	学長、事務局長、理事等
同(第2回)	7月	平成24年度実績報告書及び財務諸表の評価等について	なし
同(第3回)	7月	平成24年度実績報告書及び財務諸表の評価等について	なし
同(第4回)	8月	平成24年度実績報告書及び財務諸表の評価等について	なし
平成24年度公立大学法人新見公立大学の業務実績に係る評価結果報告会	8月	市長への報告	

(2) 中期目標期間の評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者
新見市地方独立行政法人評価委員会(第1回)	7月	第1期中期目標期間に係る事業報告書の評価について	学長、事務局長、理事等
同(第2回)	7月	第1期中期目標期間に係る事業報告書の評価について	なし
同(第3回)	8月	第1期中期目標期間に係る事業報告書の評価について	なし
同(第4回)	8月	第1期中期目標期間に係る事業報告書の評価について	なし
平成25年度公立大学法人新見公立大学の業務実績に係る評価結果報告会	8月	市長への報告	

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者
新見市地方独立行政法人評価委員会(第3回)	7月	中期目標の期間の終了時の諸般の検討について	なし
同(第4回)	8月	中期目標の期間の終了時の諸般の検討について	なし
同(第5回)	8月	中期目標の期間の終了時の諸般の検討について	なし

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法等について、以下の項目にお答えください。

	各事業年度の評価		中期目標期間の評価	
① 評価基準の有無	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>		有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>	
② 評価結果の示し方	大項目（教育研究等の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）
	大項目（その他の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）
	小項目	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）
③ 法人の自己評価の評点を評価委員会が修正し評価結果としたことはありますか	上方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>	上方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>
	下方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>	下方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>
④ 評価結果を支援強化（弱点への資金の重点配分等）に活用することがありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑤ 評価結果を支援削減（運営費交付金等）に反映させることがありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑥ 評価結果をもとに法人の運営について具体的な提案を行うことがありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑦ 評価結果を公立大学行政に反映させることはありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑧ ④～⑦の対応を行う際に、評価委員会から意見を聴取することはありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑨ 評価結果を評価委員会が設立団体の長に直接説明し意見交換を行う機会がありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑩ 設立団体の長による評価結果の議会への報告に際し、質疑が行われる会議（委員会等）名及び、最近の議会での主な質問項目についてお答えください	会議名（総務産建常任委員会） 報告の方法等 特になし			

(2) その他、法人評価の実施に関して、例えば評価委員会から出される要望事項等、課題があればご記入ください。

--

5 法人評価のための情報収集等について

① 以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください

○A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供され、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出される
B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
C) 法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
D) その他（ ）

② 法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

特になし

6 大学の教育研究の特性への配慮について

① 中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください

特になし

② 教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください

特になし

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

特になし

5 4 尾道市

1 担当する事務部局の基本情報

① 設立している公立大学法人名	公立大学法人尾道市立大学
② 公立大学担当部局名 (実際の業務にあたる職員数)	尾道市総務部総務課 1人
③ 法人評価担当部局名(②と異なる場合) (実際の業務にあたる職員数)	 1人

2 評価委員会の構成

(1) 評価委員会の名称等

① 名称	尾道市公立大学法人評価委員会
② 定数(委員の種別別)	5人
③ 任期(1期の年数と、再任、再再任等の可否)	2年、再任されることが出来る。

(2) 評価委員会の現在の構成

	委員の種別	委員名	現職等	属性	委員の経験年数
1	委員長	堂本 時夫	県立広島大学名誉教授	A) 高等教育	3年目
2	委員	今岡 寛信	尾道商工会議所副会頭	C) 経済界	3年目
3	委員	宜名真 勇	広島大学経済学部教授	A) 高等教育	1年目
4	委員	高橋 和司	尾道市監査委員	G) 会計士	3年目
5	委員	豊田 雅子	NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト代表理事	市民団体	3年目

3 評価委員会の活動(評価委員会が実施した会議、大学への視察、設立団体の長への報告等の活動)

(1) 平成25年度に実施された平成24事業年度評価に関する活動

会議等の名称	開催月	主な議題	法人側の主な参加者
平成25年度第1回尾道市公立大学法人評価委員会	7月	『平成24年度業務実績評価について』 『平成24年度財務諸表及び利益処分に関する意見について』 『公立大学法人尾道市立大学役員の報酬等の支給基準に関する意見について』	学長、副学長(1)、事務局長、教授 (1)、企画広報室長及び室長補佐
平成25年度第2回尾道市公立大学法人評価委員会	7月	『平成24年度業務実績評価について』	学長、副学長(2)、事務局長、教授、 企画広報室長及び室長補佐

(2) 中期目標期間の評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法等について、以下の項目にお答えください。

		各事業年度の評価		中期目標期間の評価	
① 評価基準の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無		有 ・ 無	
② 評価結果の示し方	大項目（教育研究等の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階	<input checked="" type="checkbox"/> 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階	
	大項目（その他の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階	<input checked="" type="checkbox"/> 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階	
	小項目	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階	<input checked="" type="checkbox"/> 4段階	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階	
③ 法人の自己評価の評点を評価委員会が修正し評価結果としたことはありますか	上方への修正	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無		上方への修正	有 ・ 無
	下方への修正	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無		下方への修正	有 ・ 無
④ 評価結果を支援強化（弱点への資金の重点配分等）に活用することがありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑤ 評価結果を支援削減（運営費交付金等）に反映させることがありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑥ 評価結果をもとに法人の運営について具体的な提案を行うことがありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑦ 評価結果を公立大学行政に反映させることはありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑧ ④～⑦の対応を行う際に、評価委員会から意見を聴取することはありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑨ 評価結果を評価委員会が設立団体の長に直接説明し意見交換を行う機会がありましたか	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：
⑩ 設立団体の長による評価結果の議会への報告に際し、質疑が行われる会議（委員会等）名及び、最近の議会での主な質問項目についてお答えください	会議名（尾道市議会 総務委員会） 報告の方法等 尾道市議会に対し評価結果を提出している。				

(2) その他、法人評価の実施に関して、例えば評価委員会から出される要望事項等、課題があればご記入ください。

5 法人評価のための情報収集等について

① 以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください

<input type="radio"/> A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供され、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出される
<input type="radio"/> B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
<input type="radio"/> C) 法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
<input type="radio"/> D) その他（ ）

② 法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

6 大学の教育研究の特性への配慮について

① 中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください

② 教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

5.5 函館圏公立大学広域連合

1 担当する事務部局の基本情報

① 設立している公立大学法人名	公立大学法人公立ほこだて未来大学
② 公立大学担当部局名	函館市企画部
(実際の業務にあたる職員数)	5名

2 評価委員会の構成

(1) 評価委員会の名称等

① 名称	函館圏公立大学広域連合公立大学法人評価委員会
② 定数（委員の種別別）	5名
③ 任期（1期の年数と、再任、再再任等の可否）	2年 再任できる

(2) 評価委員会の現在の構成

	委員の種別	委員名	現職等	属性	委員の経験年数
1	委員長	岩熊 敏夫	函館工業高等専門学校長	A) 高等教育	6年目
2	委員長職務代理者	高田 健二	北海道税理士会函館支部顧問	G) 会計士	7年目
3	委員	富田 秀嗣	函館商工会議所産学官連携促進委員会副委員長	C) 経済界	4年目
4	委員	星野 立子	北海道教育大学副学長	A) 高等教育	3年目
5	委員	三浦 汀介	南北海道学術振興財団評議員長	A) 高等教育	5年目

3 評価委員会の活動（評価委員会が実施した会議、大学への視察、設立団体の長への報告等の活動）

(1) 平成25年度に実施された平成24事業年度評価に関する活動

会議等の名称	開催月	主な議題	法人側の主な参加者
平成25年度第1回函館圏公立大学広域連合公立大学法人評価委員会	7月	平成24年度業務実績に関する評価について（大学法人からの業務実績の報告説明）	学長（理事長兼務）、副理事長、副学長、理事（事務局長）
平成25年度第2回函館圏公立大学広域連合公立大学法人評価委員会	10月	平成24年度業務実績に関する評価について（評価内容について委員間での協議および大学法人へのヒアリング）	学長（理事長兼務）、副理事長、副学長、理事（事務局長）
平成25年度第3回函館圏公立大学広域連合公立大学法人評価委員会	11月	平成24年度業務実績に関する評価について（評価の決定）	学長（理事長兼務）、副理事長、副学長、理事（事務局長）
設立団体に対する評価結果の報告	11月	平成24年度業務実績に関する評価結果について（報告）	—

(2) 中期目標期間の評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者
平成26年度第2回函館圏公立大学広域連合公立大学法人評価委員会	8月	第1期中期目標期間に係る事業報告に関する評価について（大学法人からの事業報告説明）	学長（理事長兼務）、副理事長、副学長、理事（事務局長）
平成26年度第3回函館圏公立大学広域連合公立大学法人評価委員会	10月	第1期中期目標期間に係る事業報告に関する評価について（評価内容について委員間での協議および大学法人へのヒアリング）	学長（理事長兼務）、副理事長、副学長、理事（事務局長）
平成26年度第4回函館圏公立大学広域連合公立大学法人評価委員会	11月	第1期中期目標期間に係る事業報告に関する評価について（評価の決定）	書面協議
設立団体に対する評価結果の報告	11月	第1期中期目標期間に係る事業報告に関する評価結果について（報告）	—

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者
平成25年度第1回函館圏公立大学広域連合公立大学法人評価委員会	7月	中期目標期間終了時の検討および措置（説明）	学長（理事長兼務）、副理事長、副学長、理事（事務局長）
平成25年度第2回函館圏公立大学広域連合公立大学法人評価委員会	10月	中期目標期間終了時の検討に関する意見について（意見聴取）	学長（理事長兼務）、副理事長、副学長、理事（事務局長）

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法等について、以下の項目にお答えください。

		各事業年度の評価		中期目標期間の評価	
① 評価基準の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>		有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>	
② 評価結果の示し方	大項目（教育研究等の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）		記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	
	大項目（その他の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）		記述式 ・ 4段階 ・ 5段階 その他（ ）	
	小項目	記述式 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 4段階 <input type="checkbox"/> ・ 5段階 その他（ ）		記述式 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 4段階 <input type="checkbox"/> ・ 5段階 その他（ ）	
③ 法人の自己評価の評点を評価委員会が修正し評価結果としたことはありますか		上方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>	上方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>
		下方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>	下方への修正	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/>
④ 評価結果を支援強化（弱点への資金の重点配分等）に活用することがありましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：
⑤ 評価結果を支援削減（運営費交付金等）に反映させることができましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：
⑥ 評価結果をもとに法人の運営について具体的な提案を行うことができましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：評価書の中で各委員から提案されている	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：評価書の中で各委員から提案されている
⑦ 評価結果を公立大学行政に反映させることはありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：各年度の評価結果を踏まえ、次期の中期目標や年度計画に反映している	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	備考：今回初めて第1期中期目標期間の評価がされたので今後の年度計画に反映する
⑧ ④～⑦の対応を行う際に、評価委員会から意見を聴取することはありましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：
⑨ 評価結果を評価委員会が設立団体の長に直接説明し意見交換を行う機会がありましたか		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	備考：
⑩ 設立団体の長による評価結果の議会への報告に際し、質疑が行われる会議（委員会等）名及び、最近の議会での主な質問項目についてお答えください		会議名（函館圏公立大学広域連合議会本会議） 報告の方法等			

(2) その他、法人評価の実施に関して、例えば評価委員会から出される要望事項等、課題があればご記入ください。

5 法人評価のための情報収集等について

① 以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください

- A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供され、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出される
 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
 C) 法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
 D) その他（ ）

② 法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

6 大学の教育研究の特性への配慮について

① 中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください

② 教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

5 6 北部広域市町村圏事務組合

1 担当する事務部局の基本情報

① 設立している公立大学法人名	名桜大学
② 公立大学担当部局名 (実際の業務にあたる職員数)	広域振興係 2
③ 法人評価担当部局名(②と異なる場合) (実際の業務にあたる職員数)	

2 評価委員会の構成

(1) 評価委員会の名称等

① 名称	公立大学法人名桜大学評価委員会
② 定数(委員の種別別)	5人以内及び臨時委員若干人
③ 任期(1期の年数と、再任、再再任等の可否)	2年(再任可)

(2) 評価委員会の現在の構成

	委員の種別	委員名	現職等	属性	委員の経験年数
1	委員長	東江 平之	名桜大学名誉教授	A) 高等教育	5年目
2	委員	花城 良廣	一般社団法人沖縄美ら島財団理事長	C) 経済界	5年目
3	委員	石川 正一	学校法人石川学園理事長	C) 経済界	5年目
4	委員	比嘉 恵一	元名護市教育長	H) 自治体行政	1年目

3 評価委員会の活動(評価委員会が実施した会議、大学への視察、設立団体の長への報告等の活動)

(1) 平成25年度に実施された平成24事業年度評価に関する活動

会議等の名称	開催月	主な議題	法人側の主な参加者
公立大学法人名桜大学評価委員会に関する調整	7月	・第1回公立大学法人名桜大学評価委員会の議案確認及び進行について	事務局長、総務企画部長
第1回公立大学法人名桜大学評価委員会	7月	・平成24年度に係る業務の実績に関する評価について ・平成24年度財務諸表等の承認に係る意見聴取について ・平成24年度における剰余金の使途の承認に係る意見聴取 ・中期計画の一部変更の許可に係る意見聴取について	学長、副学長、国際学群長、事務局長、総務企画部長、財務部長、企画広報課長、会計課長
公立大学法人名桜大学平成24年度業務の実績に関する評価結果原案の通知	8月	・平成24年度名桜大学業務実績の評価結果(原案)を大学へ通知し、大学からの意見等の申立ての機会を付与。	なし
公立大学法人名桜大学平成24年度業務の実績に関する評価結果の通知	8月	・平成24年度名桜大学業務実績の評価結果を大学へ通知するとともに、設立団体の長へ報告。	なし

(2) 中期目標期間の評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する活動

会議等の名称	開催年月	主な議題	法人側の主な参加者

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法等について、以下の項目にお答えください。

		各事業年度の評価		中期目標期間の評価	
① 評価基準の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無		有 ・ 無	
② 評価結果の示し方	大項目（教育研究等の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階
	大項目（その他の評価）	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階
	小項目	記述式 ・ 4段階 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階	記述式 ・ 4段階 ・ 5段階
③ 法人の自己評価の評点を評価委員会が修正し評価結果としたことはありますか		上方への修正	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	上方への修正	有 ・ 無
		下方への修正	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	下方への修正	有 ・ 無
④ 評価結果を支援強化（弱点への資金の重点配分等）に活用することがありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：	有 無	備考：
⑤ 評価結果を支援削減（運営費交付金等）に反映させることがありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：	有 無	備考：
⑥ 評価結果をもとに法人の運営について具体的な提案を行うことがありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：	有 無	備考：
⑦ 評価結果を公立大学行政に反映させることはありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：	有 無	備考：
⑧ ④～⑦の対応を行う際に、評価委員会から意見を聴取することはありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：	有 無	備考：
⑨ 評価結果を評価委員会が設立団体の長に直接説明し意見交換を行う機会がありましたか		有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	備考：	有 無	備考：
⑩ 設立団体の長による評価結果の議会への報告に際し、質疑が行われる会議（委員会等）名及び、最近の議会での主な質問項目についてお答えください		会議名（ ） 報告の方法等			

(2) その他、法人評価の実施に関して、例えば評価委員会から出される要望事項等、課題があればご記入ください。

5 法人評価のための情報収集等について

① 以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください

- A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供され、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出される
 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
 C) 法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
 D) その他（ ）

② 法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

6 大学の教育研究の特性への配慮について

① 中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください

② 教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

資料5

公立大学法人評価に関するアンケート調査Ⅱ（公立大学法人） 結果の詳細

公立大学法人評価に関するアンケート調査 Ⅱ
（公立大学法人）

目次（法人設立年度順）

1	公立大学法人国際教養大学.....	232	3 6	京都府公立大学法人.....	321
2	公立大学法人大阪府立大学.....	234	3 7	公立大学法人新見公立大学.....	323
3	公立大学法人岩手県立大学.....	237	3 8	公立大学法人宮城大学.....	325
4	公立大学法人首都大学東京.....	240	3 9	公立大学法人三重県立看護大学...	327
5	公立大学法人横浜市立大学.....	243	4 0	公立大学法人山形県立保健医療大学	329
6	公立大学法人北九州市立大学.....	245	4 1	山形県公立大学法人.....	331
7	長崎県公立大学法人.....	248	4 2	公立大学法人新潟県立大学.....	333
8	公立大学法人札幌市立大学.....	250	4 3	公立大学法人高知工科大学.....	335
9	公立大学法人秋田県立大学.....	253	4 4	公立大学法人青森公立大学.....	337
1 0	公立大学法人福島県立医科大学....	256	4 5	公立大学法人都留文科大学.....	339
1 1	公立大学法人会津大学.....	258	4 6	公立大学法人埼玉県立大学.....	341
1 2	公立大学法人名古屋市立大学.....	260	4 7	公立大学法人金沢美術工芸大学...	344
1 3	公立大学法人滋賀県立大学.....	263	4 8	公立大学法人山梨県立大学.....	346
1 4	公立大学法人大阪市立大学.....	266	4 9	公立大学法人岐阜県立看護大学...	349
1 5	公立大学法人和歌山県立医科大学..	268	5 0	公立大学法人静岡文化芸術大学...	351
1 6	公立大学法人山口県立大学.....	271	5 1	公立大学法人広島市立大学.....	353
1 7	公立大学法人九州歯科大学.....	274	5 2	公立大学法人愛媛県立医療技術大学	356
1 8	公立大学法人福岡女子大学.....	276	5 3	公立大学法人名桜大学.....	358
1 9	公立大学法人福岡県立大学.....	278	5 4	公立大学法人高崎経済大学.....	360
2 0	公立大学法人熊本県立大学.....	280	5 5	石川県公立大学法人.....	362
2 1	公立大学法人大分県立看護科学大学	283	5 6	高知県公立大学法人.....	364
2 2	公立大学法人大分県立芸術文化短期大学	285	5 7	公立大学法人京都市立芸術大学...	366
2 3	北海道公立大学法人札幌医科大学..	287	5 8	公立大学法人鳥取環境大学.....	368
2 4	公立大学法人福井県立大学.....	290	5 9	公立大学法人尾道市立大学.....	370
2 5	静岡県公立大学法人.....	292	6 0	公立大学法人秋田公立美術大学...	372
2 6	愛知県公立大学法人.....	294	6 1	公立大学法人前橋工科大学.....	374
2 7	公立大学法人神戸市外国語大学....	296	6 2	公立大学法人新潟県立看護大学...	376
2 8	公立大学法人奈良県立医科大学....	298	6 3	公立大学法人兵庫県立大学.....	378
2 9	公立大学法人岡山県立大学.....	301	6 4	公立大学法人長岡造形大学.....	381
3 0	公立大学法人島根県立大学.....	303	6 5	公立大学法人敦賀市立看護大学...	383
3 1	公立大学法人県立広島大学.....	306			
3 2	公立大学法人下関市立大学.....	309			
3 3	公立大学法人宮崎公立大学.....	312			
3 4	公立大学法人公立はこだて未来大学	315			
3 5	公立大学法人青森県立保健大学....	317			

1 公立大学法人国際教養大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	自己評価委員会		自己評価委員会	
②①の責任者の役職名・職位等	学長		学長	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	事務局企画課		事務局企画課	
④③の責任者の役職名・職位等	企画課長		企画課長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	◎シニアスタッフ	3年目	◎シニアスタッフ	3年目
	◎スタッフ	2年目	◎スタッフ	2年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位 評価項目数	数値目標 の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的	4					
		教育研究組織						
		教員及び教育支援者						
		学生の受入	4	18	3	39	3	
		教育内容及び方法（学士課程）	3	26	3	26	3	
		教育内容及び方法（大学院課程）	1	3		3		
		学習成果						
		学生支援	3	16	2	24	2	
	研究	研究活動の状況	3	10		10		
		地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	7	18	2	26	2
	国際化	教育の国際化の状況						
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営	2	4			7	
	人事の適正化	管理運営	1	4			4	
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	2	11			11	
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	1		1		1	
	情報公表	教育情報等の公表	1		2		2	
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備			3		2	
	安全管理／人権	管理運営	1		2		7	
	その他	管理運営	1		5		5	
合計								

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

--

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
4月	事業報告書作成作業の開始
6月	大学経営会議での審議
7月	秋田県地方独立行政法人評価委員会
8月	秋田県地方独立行政法人評価委員会による実績評価確定

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
	※25年度中は作成していません。

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
	※25年度中は作成していません。

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

法人評価に限った話ではないが、各種評価（認証評価、自己点検評価、外部評価等）に関する事務作業量が膨大であり、大学経営会議の委員からも、職員の事務負担の軽減を求められている。今後、どのようにして事務負担の軽減を図るかが課題となっている。

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 <input checked="" type="radio"/> A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する <input type="radio"/> B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている <input type="radio"/> C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） <input type="radio"/> D) その他（ ）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

6 法人評価と認証評価との関係について

(略) 以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	<input checked="" type="radio"/> 両評価の対応組織は同一である	<input type="radio"/> 連携して対応している	<input type="radio"/> かならずしも連携が取れていない	<input type="radio"/> それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮にいれて決めていきますか	<input checked="" type="radio"/> A) 中期目標期間を特段考慮していない <input type="radio"/> B) 考慮して7年を待たずに受審することがある <input type="radio"/> C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている		<input type="radio"/> ③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。	
→ B)、C)の場合、右の③にもお答えください				
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください				
地方独立行政法人法に基づく法人評価、大学独自の自己点検・評価、外部評価、大学機関別認証評価、専門職大学院認証評価などの、各種評価制度があり、実績報告書作成等に係る職員の事務負担の軽減が課題となっている。				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

2 公立大学法人大阪府立大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	公立大学法人大阪府立大学計画・評価会議		公立大学法人大阪府立大学計画・評価会議	
②①の責任者の役職名・職位等	理事長		理事長	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	公立大学法人大阪府立大学計画・評価委員会		公立大学法人大阪府立大学計画・評価委員会	
④③の責任者の役職名・職位等	理事（総務調整担当）		理事（総務調整担当）	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の仕事と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	課長	7年目	課長	7年目
	◎課長補佐	1年目	◎課長補佐	1年目
	課長補佐	3年目	課長補佐	3年目
	副主査	3年目	副主査	3年目
	主事	3年目	主事	3年目
	専門役（非常勤職員）	2年目	専門役（非常勤職員）	2年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

大分類 ※法定事項	中期目標の分類		中期目標		中期計画		年度計画	
	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位評価項目数	数値目標の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的	0	0	0	0	0	0
		教育研究組織	4	0	13	0	9	0
		教員及び教育支援者	0	0	0	0	0	0
		学生の受入	4	0	8	2	8	1
		教育内容及び方法（学士課程）	合わせて 2	0	9	0	9	1
		教育内容及び方法（大学院課程）			3	0	3	0
		学習成果	4	0	4	0	4	0
		学生支援	2	0	11	0	10	0
	研究	研究活動の状況	2	0	6	2	5	2
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	3	0	23	5	21	12
国際化	教育の国際化の状況	1	0	3	1	3	1	
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営	2	1	7	1	6	1
	人事の適正化	管理運営	3	0	4	0	4	0
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	5	1	8	5	8	4
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	2	0	4	1	4	0
	情報公表	教育情報等の公表	1	0	2	0	2	0
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	2	0	3	1	3	0
	安全管理／人権	管理運営	2	0	3	0	3	0
	その他	管理運営	0	0	0	0	0	0
合計			35	2	111	18	102	22

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

○数値目標が担当部局から自主的に上がってくることは少なく、特に教育研究に関する事項では数値目標は「学会発表数・論文発表数の増加」に限定されている。教育研究において数値目標を掲げるとなると、教育研究組織毎の学問分野の特色により実績が変わってくることから、全学で同意をとることが難しい。

○担当課の協力が得られた数値実績を自主的に報告するものが多くなっているが、評価委員会からは、毎年違った項目で数値目標を増加するよう求められている。数値目標があると評価がしやすくなることは理解できるが、数値目標とその達成状況を中心に評価され、他の実績への評価が十分にされなくなるのではという懸念もある。

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
前年度10月	年度計画の上半期の進捗状況を確認
4月	各部局が前年度実績を事務局へ報告
5月	事務局が実績をとりまとめ、業務実績報告書（素案）を作成
5月	計画・評価委員会において、計画の達成状況、自己評価を確認し、業務実績報告書（素案）を審議
6月	計画・評価委員からの意見対応、それらを反映し業務実績報告書（案）を作成
6月	計画・評価会議において、業務実績報告書（案）を審議
6月～7月	設立団体担当部局との事前調整
6月	学内の諸会議（経営会議、教育研究会議、役員会）を経て、業務実績報告書を学内承認、提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
前年度6月	期間満了年度中に、それまでの5年間の実績を概要版としてとりまとめ
5月	中期計画満了年度の実績報告を受け、事務局が業務実績報告書（素案）を作成
5月	計画・評価委員会において、業務実績報告書（素案）を審議
5月	計画・評価委員からの意見対応、それらを反映し業務実績報告書（案）を作成
6月	計画・評価会議において、業務実績報告書（案）を審議
6月～7月	設立団体の担当部局との事前調整
6月	学内の諸会議（経営会議、教育研究会議、役員会）を経て、実績報告書を学内承認、提出

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

○本法人の評価は、小項目評価の結果と特記事項の記載をもとに、大項目ごとの進捗状況について、S・A～Dの5段階による評価を行う。S、Dについては、特記事項の記載をもとに、評価するが、A、B、Cについては基本的に「すべて、9割以上、9割未満」で判断する記載となっている。

S・・・「特筆すべき進捗状況」（特に認める場合） A・・・「計画どおり」（すべてⅢ～Ⅴ）

B・・・「おおむね計画どおり」（Ⅲ～Ⅴが9割以上） C・・・「やや遅れている」（Ⅲ～Ⅴが9割未満）

D・・・「重大な改善事項あり」（特に認める場合）

各法人の大項目や小項目の構成数などを勘案して柔軟に評価を行うべきであり、事実、同一設立団体における他法人においては、当該数値基準がないものもあることから、本法人は評価委員会に数値基準の見直しを求めている。

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

--

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 <input checked="" type="radio"/> B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） D) その他（ ）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください ○法人評価を含め、大学評価全般に必要な数値データを「データ集」として取りまとめ、参考資料として評価委員会に提出するとともに、学外公開している。ただし、データ集に記載していない数値データを聞かれること、また実績報告書の内容についてより説明が求められることなどにより、データ集のみならず事務局内で業務実績報告書のエビデンスデータの収集が必要となっており、事務局での業務負担が非常に大きい。 ○毎年の業務実績報告書については、部局ごとの年度計画など取組み目標は掲げられているが、それに対する明確な評価基準が予めめされているようなものではなく、また、全学の年度計画項目とは必ずしも全てイコールの関係にはなっていない状況にある。そういった中、認証評価や自己点検・評価における自己評価書と比較すると、各部局における業務実績報告書への関心は高くはないように思われ、記載すべき取組みの報告が各部局から上がってこない場合がある。業務実績報告書の内容を蓄積していけば自己点検・評価や認証評価に活用できるので、計画に記載のない新規の取組事項の報告を促すよう、学内報告資料の工夫を図るとともに、認証評価等への活用について周知していかなければと考えている。

6 法人評価と認証評価との関係について

（略）以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとられていますか	<input checked="" type="radio"/> 両評価の対応組織は同一である	<input type="radio"/> 連携して対応している	<input type="radio"/> かならずしも連携が取れていない	<input type="radio"/> それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めていきますか A) 中期目標期間を特段考慮していない <input checked="" type="radio"/> B) 考慮して7年を待たずに受審することがある C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている	→ B)、C)の場合、右の③にもお答えください		③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 6年目 ※5年目での受審を検討したが、教育組織が完成年度に到達しないため、6年目（前回受審からは7年後）での受審となった。	
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください ○法人評価と認証評価では項目・内容が一致していないため、「踏まえる」方法は解釈によるところが大きい。法人評価と認証評価の関係性はより明確化され、相関性を持つようにすべきと考えている。 ○第2期中期目標期間においては第3期中期目標作成の時期と並行して認証評価を受審することとなることから、目標の審議方法などについて法人評価委員会と調整が必要。				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください ○毎年度の法人評価では教育研究に関する項目は進捗状況の確認にとどまるため、認証評価や自己点検・評価と比較すると、各部局での関心は高くはない。				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

○年度計画は中期計画を踏まえて作成されるため、新規の取組事項が反映しづらい面がある。そのため、毎年度現時点での法人の課題を浮き彫りにした上で理事・副学長等が戦略目標を作成し、学内でPDCAを回し、年度計画に反映させるなどの工夫を行っている。 ○業務実績報告書や法人評価のデータを監事監査にも活用し、新規項目や進捗が遅れている項目について、実地の聞き取りが行われている。

3 公立大学法人岩手県立大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	公立大学法人岩手県立大学評価委員会		公立大学法人岩手県立大学評価委員会	
②①の責任者の役職名・職位等	委員長 学長 中村慶久		委員長 学長 中村慶久	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	公立大学法人岩手県立大学評価委員会 自己点検・評価部会		公立大学法人岩手県立大学評価委員会 自己点検・評価部会	
④③の責任者の役職名・職位等	部会長 企画本部長 石堂淳		部会長 企画本部長 石堂淳	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	◎企画課長	2年目	◎企画課長	2年目
	◎主幹	2年目	◎主幹	2年目
	◎主任主査	1年目	◎主任主査	1年目
	主事	1年目	主事	1年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数 (※)	最小単 位評価 項目数	数値目 標の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的	—	—	—	—	—	—
		教育研究組織	1	—	1	—	2	—
		教員及び教育支援者	1	—	3	1	5	—
		学生の受入	1	—	3	3	6	—
		教育内容及び方法（学士課程）	2	—	9	3	20	—
		教育内容及び方法（大学院課程）						
		学習成果						
	学生支援	2	—	7	3	22	—	
	研究	研究活動の状況	2	—	5	2	10	—
地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	3	—	5	2	12	—	
国際化	教育の国際化の状況	1	—	2	—	4	—	
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略/機動的運営	管理運営	2	—	3	—	7	—
	人事の適正化	管理運営	1	—	2	—	5	—
財務内容の改善に関する事項	財務運営/資産管理	財務基盤	2	—	4	1	11	—
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提出に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	1	—	1	—	2	—
	情報公表	教育情報等の公表	1	—	2	—	3	—
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	1	—	2	—	4	—
	安全管理/人権	管理運営	1	—	1	—	5	—
	その他	管理運営	—	—	—	—	—	—
合計			22	—	50	15	118	—

※第二期中期計画では、特に緊急性、重要性が高く、継続的な取組を要する6項目を重点計画と位置づけ、これらの重点計画には「評価指標」を掲げている。設問にある数値目標数は、「評価指標」の数を記載した。なお、これ以外の数値目標については非公表にしている。

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

ある計画項目の達成度を測る指標として、現在設定されているものが適切であるかどうか、常に見直すことが必要であると思われる。（指標の固定化による、数値目標の目的化を防ぐためにも（数値は結果を測るための手段であって目的ではない。））

本学の場合、各種アンケート結果や業務数値などを蓄積したデータベース（自己点検・評価マネジメントシステム）を構築・運用しており、様々なデータについて相互関係を考慮しながら分析、活用出来る環境は整っているため、今後、そのような活用の充実化が課題である。

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
5月上～中旬	年度末実績について各部署（学部・本部）とのヒアリングを実施
5月中旬	実績取りまとめ作業の開始
5月中～下旬	集約した事業実績の検討、事業実績報告書案の作成
6月上旬～中旬	学内で報告書案を検討。理事長、副理事長による最終チェック
6月下旬	経営会議、教育研究会議による承認。事業実績報告書の提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
H23.1月	各部署への業務実績照会（暫定評価への課題対応）を実施
H23.2月	各部署からの業務実績回答を受理
H23.6月	学内で第1期中期目標期間に係る業務実績評価案を検討 経営会議、教育研究会議による承認。事業実績報告書の提出

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
H21.8月	実務担当者説明会を開催し、各部署への業務実績照会を実施。（各部署担当者に暫定評価の手順や評価シートの記載方法等の説明）
H21.9月	各部署からの業務実績回答を受理
H21.10月	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署から提出された評価シートを整理 ・評価シート最終案に基づき、報告書案を作成 ・学内で報告書案を協議後、理事会議・教育研究会議による承認。業務実績報告書の提出

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

法人評価は、認証評価のような明確な基準がないことから、やや主観的な評価になりがちである。そのため、出来るだけ客観的な自己点検・評価を行えるよう、各学部において、外部有識者をまじえた評価体制の構築・運用を図っている。

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

前年度の実績に対する評価結果が出ないうちに新年度の計画がスタートするので、前年度の評価結果を新年度の計画に直接反映出来ない。そのため、年度途中での計画進捗状況確認が必要である。
本学では、10月頃の学長と各学部長のヒアリングや、12月末現在の実績取りまとめを通じて、年度途中での計画進捗状況を把握し、それを次年度計画の策定に反映することが出来るようにしている。
また、法人評価の結果が設置団体の施策にどのように反映されているか不明である。

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている ● C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） D) その他（ ）
③ 法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください 本学の場合、各種アンケート結果や業務数値などを蓄積したデータベース（自己点検・評価マネジメントシステム）を構築・運用しており、様々なデータについて相互関係を考慮しながら分析、活用出来る環境は整っているため、そのような活用の充実化が課題である。

6 法人評価と認証評価との関係について

法人評価における大学の教育研究の特性への配慮については、地独法第79条では、「中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価を踏まえることとする」と定められています。また年度評価に際しては、評価委員会の判断で、教育研究については客観的・外形的評価にとどめ、質的判断を示す評点による評価を行っていない評価委員会もあります。法人評価の実質化については、教育研究の特性に配慮するために、認証評価との関係の整理が必要との声がありますが、この課題について以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	●両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めてありますか ●A) 中期目標期間を特段考慮していない B) 考慮して7年を待たずに受審することがある C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている			③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 年目	
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください 本学では、現行中期計画の項目を、認証評価の点検・評価項目と関連付けることで、認証評価結果を踏まえた法人評価を可能としているが、これは本来とは逆の手順であり、地独法第79条の規定の具体化が必要であると思われる。				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください 大学側はより分かりやすい、客観的な自己点検・評価となるよう努める必要があり、評価機関側は各大学の教育研究の特性をより深く理解した上で評価を行う必要がある。				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

《取り組み事例》 ・ 各種アンケート結果や業務数値などを蓄積したデータベース（自己点検・評価マネジメントシステム）を構築・運用しており、様々なデータについて相互関係を考慮しながら分析、活用出来る環境を整えている。 ・ 各学部において、外部有識者をまじえた評価体制の構築・運用を図っている。 ・ 10月頃の学長と各学部長のヒアリングや、12月末現在の実績取りまとめを通じて、年度途中での計画進捗状況を把握し、それを次年度計画の策定に反映することが出来るようにしている。 《課題・要望》 ・ 大学側の自己点検・評価や、評価委員会での評価の際に、課題と思われるのは、教育の成果そのものを判断する指標の設定が非常に困難であること。何らかの参考となる指針、指標等があれば良いと思われる。

4 公立大学法人首都大学東京

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	経営審議会		自己点検・評価委員会	
②①の責任者の役職名・職位等	理事長		委員長（委員の互選）	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	経営企画室企画財務課		首都大学東京管理部教務課教育支援・評価係	
④③の責任者の役職名・職位等	企画財務課長		大学教育推進担当課長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	◎係長	2年目	◎係長	4年目
	◎主任	3年目	◎主任	3年目
	主任	1年目	主事	2年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位 評価項目数	数値目標の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的	3	0	0	0	0	0
		教育研究組織	6	0	11	0	7	0
		教員及び教育支援者	0	0	4	0	5	0
		学生の受入	5	0	10	0	7	0
		教育内容及び方法（学士課程）	6	0	11	0	7	0
		教育内容及び方法（大学院課程）	2	0	8	0	6	0
		学習成果	3	0	5	0	4	0
		学生支援	12	0	16	0	16	0
	研究	研究活動の状況	10	0	17	0	13	0
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	14	0	17	0	13	0
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営	管理運営	5	0	10	0	6	0
		人事の適正化	2	0	4	0	1	0
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	6	0	15	0	11	0
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提出に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	1	0	3	0	2	0
		情報公表	3	0	3	0	2	0
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	2	0	3	0	3	1
		安全管理／人権	4	0	4	0	3	0
		その他	2	0	2	0	2	1
合計			90	0	148	0	113	4

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

・平成26年度に設置団体である都が策定した『長期ビジョン』内において、首都大の国際化事業について、概ね10年後（2024（平成36）年頃）までの数値目標を設定したため、平成27年度計画に目標の数値設定を行っている。
 ・目標の達成度を客観的に判断するためには、できる限り定量化（数値化）した目標設定が重要であると考えているが、教育効果などをいかに数値化するか、また、数値でなく定性的な目標を設定した場合に達成状況をいかに判断するか等の課題がある。

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
12月	都より法人に業務実績報告書の作成要領通知。経営企画室にて、作成マニュアルを策定。
1月	経営企画室より2大学1高専及び法人組織各担当者に業務実績報告書の作成依頼通知。
2月・3月	2大学1高専及び法人組織各担当者から経営企画室に業務実績報告書の提出/各組織に対するヒアリング実施、内容調整
4月	事務局長等への内容説明/設置団体の担当部局との事前調整
5月	各大学・高専の教育研究審議会等において業務実績報告書の報告/評価委員会からの事前質問対応
6月	各大学・高専の教育研究審議会等において業務実績報告書の審議/経営審議会での審議/都への業務実績報告書の提出/評価委員会からの質問対応

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
23年5月	各大学・高専の教育研究審議会等において業務実績報告書の報告
23年6月	各大学・高専の教育研究審議会等において業務実績報告書の審議/経営審議会での審議/都への業務実績報告書の提出

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
21年5月	各大学・高専の教育研究審議会等において業務実績報告書の報告
21年6月	各大学・高専の教育研究審議会等において業務実績報告書の審議/経営審議会での審議/都への業務実績報告書の提出

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

・評価委員会より各大学・高専及び法人ごとにヒアリングを受けているが、項目数が多いため、議論が事業の詳細な内容に終始することがあり、大学の特色ある取組等について十分な議論が及ばないことがある。

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

・評価委員会が特に注視する項目については、評価とは別に対応報告事項として9月に法人に示され、評価委員会に適宜詳細な報告を行うとともに、次年度の年度計画に反映させるなどPDCAサイクルが確立していると考えている。

<参考 対応報告事項の対応>

- 教研審等において当該年度及び今後2カ年の取組を報告（10月）
- 年度末の評価委員会において、評価後（10月-3月まで）の取組を説明（3月）
- 次年度の年度計画に反映（3月）
- 業務実績報告書において、特記事項として取組を詳細に記載（6月）

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 <input checked="" type="radio"/> A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 <input type="radio"/> B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている <input type="radio"/> C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） <input type="radio"/> D) その他（ ）
③ 法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください ・評価委員会からは業務実績報告書と併せて提出する資料として、以下の3つが挙げられている。 I 特記事項に関するもの II 業務実績報告書の小項目に記載した業務実績について、これを証明する資料 III 法人の基礎的なデータ 上記のI・IIについては、提出資料をあらかじめ精査してもらうなど、提出資料が少なくなるよう配慮いただいているが、計画の項目数が多いため、各所属に多くの資料作成・提供の依頼を行わざるを得ない状況であり、計画の精査等による効率化が課題と考えている。

6 法人評価と認証評価との関係について

法人評価における大学の教育研究の特性への配慮については、地独法第79条では、「中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価を踏まえることとする」と定められています。また年度評価に際しては、評価委員会の判断で、教育研究については客観的外形的評価にとどめ、質的判断を示す評点による評価を行っていない評価委員会もあります。法人評価の実質化については、教育研究の特性に配慮するために、認証評価との関係の整理が必要との声がありますが、この課題について以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	●連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めてありますか A) 中期目標期間を特段考慮していない B) 考慮して7年を待たずに受審することがある C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている		} → B)、C)の場合、右の③にもお答えください	③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 6 年目	
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください ・教育研究の評価について、公立大学法人評価では、認証評価の結果を「踏まえる」とされているが、認証評価と公立大学法人評価では、基本的には評価の視点が異なることから、認証評価結果をどのように法人評価に対応するのが難しい状況である。				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください ・大学の評価業務は非常に負担感が大きいことから、認証評価の項目についての重点化による項目数削減など、評価業務量の削減について、ご検討していただきたい。				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

・年に1回程度、評価委員会による現場視察を実施し、大学の概要説明、教員との意見交換会、特色ある教育・研究の説明、施設見学を行っている。また、評価委員会からの要望により、教員だけでなく、留学生や職員との意見交換の場を設けるなど、机上での議論だけでなく、現場の声にも積極的に耳を傾けていただいている。
・評価制度に関する国の動向や各公立大学法人において抱えている課題、目標設定の指標等の事例等について、共有できる仕組みを作っていただきたい。

5 公立大学法人横浜市立大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	大学評価本部		大学評価本部	
②①の責任者の役職名・職位等	理事長		理事長	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	企画総務部 経営企画課		学務・教務部 学術企画課	
④③の責任者の役職名・職位等	課長		課長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	◎係長	2年目	係長	3年目
	職員	1年目	職員	2年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画		
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位 評価項目数	数値目標の数	
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的	1		1		1		
		教育研究組織	1		1		1		
		教員及び教育支援者						2	
		学生の受入				1		2	
		教育内容及び方法（学士課程）	3		7		16		
		教育内容及び方法（大学院課程）	3		5		7		
		学習成果			1	1		1	
		学生支援	1		1			9	
	研究	研究活動の状況	4		3	3		6	
		地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	1		1	2		7
	国際化	教育の国際化の状況	1		1	3		5	
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営	2		3			2	
		人事の適正化	1		3			7	
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	3		6	1		9	
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提出に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	1		1			2	
		情報公表	1		1			1	
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	1		1			4	
		安全管理／人権	1		1			2	
		その他	8		12	6		27	
合計			33	0	49	17		111	

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

--

3 事業報告書作成のスケジュール

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
3月	学内の各所管に事業報告書作成作業の依頼
4月	学内の各所管からとりまとめ所管への資料提出締切、事業報告書案の作成
5月	事業報告書案の理事長等への説明
6月	事業報告書案を学内会議にて審議、承認
6月末	事業報告書を設立団体に提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
平成23年5月	第1期報告書案の作成開始
〃 6月上旬	とりまとめ所管から学内の各所管に第1期報告書案の確認依頼
〃 6月下旬	第1期報告書案を学内会議にて審議、承認
〃 6月末	第1期報告書を設立団体に提出

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
平成26年3月	学内の各所管に中間報告書作成作業の依頼
〃 5月～7月	学内の各所管からとりまとめ所管への資料提出締切、中間報告書案の作成
〃 8月～9月	中間報告書案を理事長等へ説明、学内会議にて審議、承認
〃 9月末	中間報告書を設立団体に提出

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

--

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

・法人の方針と異なる評価結果（指摘事項）が出された場合の対応が課題

5 法人評価のための情報収集等について

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 <input checked="" type="radio"/> A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 <input type="radio"/> B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている <input type="radio"/> C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） <input type="radio"/> D) その他（ ）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください 本学のデータと他大学のデータを比較し、分析することが課題。

6 法人評価と認証評価との関係について

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	<input checked="" type="radio"/> 連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めていきますか <input type="radio"/> A) 中期目標期間を特段考慮していない <input checked="" type="radio"/> B) 考慮して7年を待たずに受審することがある <input type="radio"/> C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている		→ B)、C)の場合、右の③にもお答えください	③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 5年目	
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

--

6 公立大学法人北九州市立大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	評価室		評価室	
②①の責任者の役職名・職位等	評価室長		評価室長	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	経営企画課・調整係		経営企画課・調整係	
④③の責任者の役職名・職位等	経営企画課長・課長		経営企画課長・課長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	◎課長	10年目	◎課長	10年目
	◎係長	4年目	◎係長	4年目
	職員	3年目	職員	3年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位 評価項目数	数値目標の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的	2		2			
		教育研究組織						
		教員及び教育支援者						
		学生の受入			8	1	7	1
		教育内容及び方法（学士課程）			10	4	19	4
		教育内容及び方法（大学院課程）			7	1	10	
		学習成果			2		2	
		学生支援	1		6	1	18	1
	研究	研究活動の状況	2		8		20	
地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	1		4		12	1	
国際化	教育の国際化の状況	1		4		14		
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運（項目）	管理運営	1		4		4	
		人事の適正化	1		2	1	5	
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	1		4	1	5	2
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	1		1		2	
		情報公表			1		1	
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	1		3		8	
		安全管理／人権	1		2		5	
		その他	1		2		2	
合計			14	0	70	9	134	9

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

評価委員からは、数値目標の設定を求められるが、6年後の社会情勢や学生の状況を見据えて、数値的な目標を設定することは非常に難しい。
また、評価の際にも数値目標にとらわれすぎ、努力した課程は評価されにくい傾向にある。

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
H25年9月	計画の進捗状況について各課にシステムへの入力を依頼
9月	各課から提出された進捗状況を確認
11月	学長・副学長・評価室長等へ進捗の遅れている項目、計画の達成困難な項目について確認
11～12月	達成困難な項目について、学長、評価室長等によるヒアリング
H26年3月	年度計画の実績について各課に9月の状況から更新を依頼 → 報告書（試案）の作成
4月	評価室会議による審議、評価室委員・各課からの修正 → 報告書（案）の作成
5月	評価室会議による承認
6月	教育研究審議会、経営審議会、役員会による承認、実績報告書の提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
H23年4月	業務実績報告書（原案）作成
4月	評価室会議による審議、評価室委員・各課からの修正→報告書（案）の作成
5月	評価室会議による承認
6月	教育研究審議会、経営審議会、役員会による承認、実績報告書の提出

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
H19年 10月～11月	中期計画推進会議にて、教育研究を具体的に担う各学部・大学院からの意見を踏まえながら中期計画の推進について検討及び整理
H20年 2月～3月	教育研究審議会、経営審議会への中期計画の中間報告と中期計画の見直しについて承認

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

年度計画における教育研究等の質の向上に関する事項については、評価指針・実施要領で「専門的な観点からの評価は行わない」となっているが、評価委員が専門的な内容にまで言及するなど、評価制度が十分に解釈されていない。
また、法人評価委員は年度計画の進行状況について評価を行うようになっているが、中期目標・中期計画に掲げていない内容について言及する場面も見受けられた。

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

評価に係る業務負担は大きいにもかかわらず、評価結果等を通じて大学が得られる効果は小さい。
年度計画の実績に関しては、事業年度終了後（7、8月）に法人評価委員会が開催され、大学に評価結果が通知されるが、その頃にはすでに次年度計画は進捗しており、評価結果をタイムリーに年度計画に反映させることができない。

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） D) その他（ ）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください 教員が個々に行う研究や活動などの情報は、事務局が把握するのに時間を要する。

6 法人評価と認証評価との関係について

法人評価における大学の教育研究の特性への配慮については、地独法第79条では、「中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価を踏まえることとする」と定められています。また年度評価に際しては、評価委員会の判断で、教育研究については客観的外形的評価にとどめ、質的判断を示す評点による評価を行っていない評価委員会もあります。法人評価の実質化については、教育研究の特性に配慮するために、認証評価との関係の整理が必要との声がありますが、この課題について以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めてありますか A) 中期目標期間を特段考慮していない B) 考慮して7年を待たずに受審することがある C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている		→ B)、C)の場合、右の③にもお答えください	③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 5年目	
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください 法人評価委員会が、中期目標期間の評価に際しては、認証評価機関による評価を踏まえることとしているが、どのようにして踏まえているかが明確にされていない。現状では、「どのように踏まえるかは評価委員の判断」として運用されているが、どのように判断されたのかが不明である。				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください 認証評価や自己点検・評価、法人評価など大学評価に係る作業負担が非常に大きい。それぞれの評価ごとに観点の相違があり、法人内の努力では業務量の軽減が難しい部分がある。				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

認証評価や自己点検・評価、法人評価等、大学評価に係る作業の負担は大きく、それぞれの評価ごとに観点の相違があり、法人内の努力では業務量の軽減が難しいため、事業報告書や法人評価委員会の簡素化が望まれる。

7 長崎県公立大学法人

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	長崎県公立大学法人中期計画推進本部		長崎県公立大学自己点検・評価委員会	
②①の責任者の役職名・職位等	学長		学長	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	企画広報課 計画評価G		企画広報課 計画評価G	
④③の責任者の役職名・職位等	課長		課長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の仕事と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	◎グループ・リーダー	2年目	◎グループ・リーダー	2年目
	サブグループリーダー	2年目	サブグループリーダー	2年目
	スタッフ	3年目	スタッフ	3年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位 評価項目数	数値目標の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的	0		0		0	
		教育研究組織	0		0		0	
		教員及び教育支援者	1		1		1	
		学生の受入	1		1		2	
		教育内容及び方法（学士課程）	8		14		27	
		教育内容及び方法（大学院課程）	1		3		5	
		学習成果	0		0		0	
		学生支援	2		4		8	
	研究	研究活動の状況	8		8	2	14	3
地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	5		6	3	8	3	
国際化	教育の国際化の状況	1		1	1	3	1	
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営	6		7		7	
	人事の適正化	管理運営	2		3		3	
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	3		2	2	2	2
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	2		2		2	
	情報公表	教育情報等の公表	1		2		2	
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	2		2		2	
	安全管理／人権	管理運営	2		3		3	
	その他	管理運営	0		0		0	
合計			45		59	13	89	17

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

数値目標を掲げている計画については、実績を判断する際に分かりやすいという点はあるものの、数値結果のみでの評価となってしまう。

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
4月	部局より実績報告の提出、部局ヒアリング
5月	WG（事務局）による内容の検討報告案の作成
6月	中期計画推進本部による報告書案の検討
6月	経営協議会・理事会での審議承認→6月末、県へ提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

事務局主導で進められており、各部局の委員会が主体的には関わっていないが、推進体制に課題がる。
--

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

--

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） <input checked="" type="radio"/> D) その他（法人評価委員会の際に補足資料として提出している）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください 法人評価に必要なデータは、毎年実績報告書清作成の際に、提出をお願いしている。 毎年、実績報告に必要なデータなどは、データベース化するなど効率化の検討が必要。

6 法人評価と認証評価との関係について

(略) 以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	<input checked="" type="radio"/> それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めていますが A) 中期目標期間を特段考慮していない B) 考慮して7年を待たずに受審することがある <input checked="" type="radio"/> C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている			→ B)、C)の場合、右の③にもお答えください	③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 4 年目
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください 第2期の認証評価からPDCAサイクルが機能しているかに重点がおかれているため、内容の評価まで踏み込んだものとなっていないことから、これをもって認証評価機関の教育及び研究の評価として良いものが疑問が残る。				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください 法人評価と認証評価にかかる自己点検をそれぞれ実施しており、これらを一元的に実施できるような実施方法や組織の改善が必要。				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

--

8 公立大学法人札幌市立大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	自己点検評価委員会		自己点検評価委員会	
②①の責任者の役職名・職位等	副学長・看護学研究科長		副学長・看護学研究科長	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	経営企画課		経営企画課	
④③の責任者の役職名・職位等	事務局次長		事務局次長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	◎経営企画係長	3年目	◎経営企画係長	3年目
	経営企画係員	2年目	経営企画係員	2年目
	経営企画係員	1年目	経営企画係員	1年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画（H26）		
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位 評価項目数	数値目標の数	
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的							
		教育研究組織							
		教員及び教育支援者							
		学生の受入		1		3	1	4	1
		教育内容及び方法（学士課程）		4		6	8	8	6
		教育内容及び方法（大学院課程）				1		1	
		学習成果				2	2	1	1
		学生支援		1		3	2	4	
	研究	研究活動の状況		3		5	1	6	5
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況		3		3	5	6	3
国際化	教育の国際化の状況		1		2	1	3	1	
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営		3		4	3	4	1
	人事の適正化	管理運営		3		4	3	4	1
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤		2		3	3	4	1
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム		1		1	1	3	
	情報公表	教育情報等の公表							
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備		2		4	2	5	
	安全管理／人権	管理運営		2		3	1	3	
	その他	管理運営		1		1	1	1	1
合計				27	0	45	34	57	21

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

・数値目標を達成すると、次年度にはさらに高いレベルの目標を設定するよう評価委員会に促されるが、当大学の実施体制等を説明し、過大な目標値にならないように抑えている。

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
平成26年3月	事業報告書の原案作成を学内委員会等に依頼
4月	各委員会等で作成した報告書案を集約・調整。
5月～6月上旬	自己点検評価委員会で報告書案の内容を調整。部局長会議で決定。設置団体の担当部局と事前調整
6月中旬	報告書案の内容を監事監査、教授会・教員会議で報告
6月下旬	報告書案を審議会・役員会で審議。報告書を決定
6月末	報告書・参考資料を設置団体に提出
7月上旬～中旬	評価委員会によるヒアリングの対応準備
7月中旬	評価委員会によるヒアリングの実施
8月上旬	設置団体から評価結果案が大学に提示。評価結果案に対する大学からの意見提出の可否を審議
8月中旬	設置団体に意見を提出（意見なしの場合あり）
9月上旬	評価委員会から評価書を受理

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
	上記(1)の作成スケジュールと同様（直近では平成24年度に作成）

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
平成22年7月	報告書の原案作成を学内委員会等に依頼
9月上旬	各委員会等からの報告書案を集約・調整。
9月～10月	企画戦略会議（部局長で構成。平成23年度に廃止）で報告書案の内容を調整・決定
10月下旬	審議会・役員会で審議。報告書を決定
10月末	報告書・参考資料を設置団体に提出
11月～12月	評価委員会によるヒアリングの対応準備
12月下旬	評価委員会によるヒアリングの実施
平成23年2月上旬	設置団体から評価結果案が大学に提示。評価結果案に対する大学からの意見提出の可否を審議
2月下旬	設置団体に意見を提出（意見なしの場合あり）
3月上旬	評価委員会からの評価書を受理

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

・実績報告書の取りまとめやヒアリング対応、役員会・審議会の開催など、法人評価に関する作業負担が大きい。

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

・評価委員会から、教育研究分野を中心に数値目標の設定を求められ、また、基本的に前年度以上の実績を求められるため、計画の達成に苦慮する事例が生じている。
 ・評価委員会委員の個別の意見が評価書に盛り込まれ、改善を求められる場合があり、特に教育研究分野などで対応が困難なものがある。

5 法人評価のための情報収集等について

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）

②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。

A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する

B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている

C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）

D) その他（ ）

③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

・事業報告書の参考資料は、事業報告書の提出期限（6月末）までに提出する必要があるため、報告書の作成と並行して参考情報の収集やデータの集計を行う必要があり、作業負担が大きい。また、評価委員会から追加で要求される資料には新規作成が必要なものがあるが、評価委員会への提出以外では使用しないものがあり効率化が必要である。

6 法人評価と認証評価との関係について

法人評価における大学の教育研究の特性への配慮については、地独法第79条では、「中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価を踏まえることとする」と定められています。また年度評価に際しては、評価委員会の判断で、教育研究については客観的・外形的評価にとどめ、質的判断を示す評点による評価を行っていない評価委員会もあります。法人評価の実質化については、教育研究の特性に配慮するために、認証評価との関係の整理が必要との声がありますが、この課題について以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めてありますか A) 中期目標期間を特段考慮していない B) 考慮して7年を待たずに受審することがある C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている			③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 6年目	
→ B)、C)の場合、右の③にもお答えください				
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください ・第1期中期目標期間の評価では、認証評価の結果は法人評価の参考資料の一部として提出したのみであり、法人評価にあまり活用されなかった。このため、次回の中期目標期間の評価の際には、認証評価結果を法人評価にどのように活用するかを設置団体と協議し整理しておく必要がある。				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください ・特になし。				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

・当法人では、年度計画の各項目について、業務運営の改善等に関する項目は四半期ごと、それ以外の項目は半期ごとに進捗管理を行い、個々の取り組みのPDCAサイクルを回すことにより、中期計画・年度計画の確実な達成に向けて取り組んでいる。
--

9 公立大学法人秋田県立大学

1 評価を担当する組織

	法人評価	認証評価		
①評価を統括する委員会（教員組織）名	役員会	自己評価委員会		
②①の責任者の役職名・職位等	理事長兼学長	理事長兼学長		
③評価を直接担当する組織・セクション名等	企画・広報本部	自己評価委員会ワーキンググループ		
④③の責任者の役職名・職位等	副理事長兼企画・広報本部長	理事兼研究・地域貢献本部長		
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と 評価業務経験年数（何年目でカウントしてくだ さい）。設立団体からの派遣職員の場合は職位 の前に◎を付してください。	◎マネージャー	3年目	教授	2年目
	スタッフ	2年目	教授	2年目
		年目	教授	1年目
		年目	准教授	1年目
		年目	准教授	1年目
		年目	准教授	1年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期 目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大 学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標 の数	項目数	数値目標 の数	最小単位 評価項目 数	数値目標 の数
教育研究の質の 向上に関する事 項	教育	大学の目的						
		教育研究組織	1		1		1	
		教員及び教育支援者						
		学生の受入	2		7	3	7	3
		教育内容及び方法（学士課程）	1		3		3	
		教育内容及び方法（大学院課程）	1		2		2	
		学習成果	1		1		1	
		学生支援	2		4	1	4	1
	研究	研究活動の状況	2		7		7	
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	6		18	1	18	1
国際化	教育の国際化の状況	2		4		4		
業務運営の改善及び効率化に 関する事項	経営戦略／機動的運営 （項目）	管理運営	2		6		6	
	人事の適正化	管理運営	1		6		6	
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	2		6		6	
教育及び研究並びに組織及び運営 の状況について自ら行う点検及び 評価並びに当該状況に係る情報の 提出に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	1		3		3	
	情報公表	教育情報等の公表	1		2		2	
その他業務運営 に関する重要事 項	施設・設備の整備等	施設・整備	1		3		3	
	安全管理／人権	管理運営	1		2		2	
	その他	管理運営			2		2	
合計			27		77	5	77	5

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

設置者との約束で、県内高校出身の入学生割合を数値目標として設定しているが、県内の18歳人口が他県と比べて著しく減少する中で、長期的に当該目標の達成が困難になると思われること。

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
4月	事業報告書の作成開始
5月	達成状況を集約した内容の学内における検討、報告書案の作成
6月	担当本部長のチェック、役員会等による審議・承認
〃	設置団体への提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
平成24年4月	中期目標期間の業務報告書の作成開始
平成24年5月	達成状況を集約した内容の学内における検討、報告書案の作成
平成24年6月	担当本部長のチェック、役員会等による審議・承認
〃	設置団体への提出

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
平成23年1月	設置者から中期計画の達成見込み及び自己評価資料の作成依頼
〃	中期計画の達成見込み及び自己評価資料案の作成開始
平成23年3月	担当本部長によるチェック、役員会等による審議・承認
〃	設置団体への提出

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

特になし。

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

特になし。

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） D) その他（ ）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください 特になし。

6 法人評価と認証評価との関係について

法人評価における大学の教育研究の特性への配慮については、地独法第79条では、「中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価を踏まえることとする」と定められています。また年度評価に際しては、評価委員会の判断で、教育研究については客観的外形的評価にとどめ、質的判断を示す評点による評価を行っていない評価委員会もあります。法人評価の実質化については、教育研究の特性に配慮するために、認証評価との関係の整理が必要との声がありますが、この課題について以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
② 認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮にいて決めていますか		③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。		
A) 中期目標期間を特段考慮していない		→ B)、C)の場合、右の③にもお答えください		
B) 考慮して7年を待たずに受審することがある				
C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている		6 年目		
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください				
中期目標において、自己評価は認証評価機関の定める基準に基づき実施することとなっている。全く同じ項目で評価を実施している訳ではないが、概ね認証評価機関の基準に従い自己点検が実施できている。				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください				
特になし。				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

<p>大規模大学のように法人評価・認証評価に対応する専任スタッフを配置することができない。</p> <p>今後、法人評価の実質化等の具体的な対応として、公立大学全体に対して評価項目の拡充等が求められる状況となれば、小規模大学にとっては過大な負担となってしまうため、安易に評価事務負担の増加につながるような措置が取られないよう要望したい。</p>
--

10 公立大学法人福島県立医科大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	評価室		評価室	
②①の責任者の役職名・職位等	経営・渉外担当理事		経営・渉外担当理事	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	企画財務課		企画財務課	
④③の責任者の役職名・職位等	企画財務課長		企画財務課長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	◎主任主査	3年目	◎主任主査	3年目
	◎主事	1年目	◎主事	1年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位 評価項目数	数値目標の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的						
		教育研究組織	2		8	1	7	
		教員及び教育支援者	1		3		7	1
		学生の受入	4		3	1	4	
		教育内容及び方法（学士課程）	6	1	16		26	
		教育内容及び方法（大学院課程）	2		9		10	
		学習成果			1	1	2	
		学生支援	2	1	4		9	
	研究	研究活動の状況	4		14	1	31	
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	13		24	1	40	
国際化	教育の国際化の状況	1		4		7		
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営	1		3	1	8	
	人事の適正化	管理運営	2		4		5	
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	2		4		10	1
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	2		4		8	
	情報公表	教育情報等の公表	1		5		13	
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	2		8		14	
	安全管理／人権	管理運営	2		6		18	1
	その他	管理運営	3		8		22	
合計			49	2	128	2	241	3

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

中期目標、中期計画及び年度計画それぞれに対してどのような数値目標を設定するのが望ましいのか、数値目標のそれぞれの計画への設定の仕方について疑問がある。

3 事業報告書作成のスケジュール

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
4月	事業報告書作成作業の開始
5月	評価室における事業報告書(案)の検討、作成
6月	教授会、経営審議会、教育研究審議会及び役員会による承認、設置団体への提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
4月	事業報告書作成作業の開始
5月	評価室における事業報告書(案)の検討、作成
6月	教授会、経営審議会、教育研究審議会及び役員会による承認、設置団体への提出

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

事業年度の終了から評価の実施まで短期間での作業になることから、その間の作業量と負担感が大きい。

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

事後評価であるため、評価結果のフォローアップについては年度内に取り組むことができるが、事業計画へ評価結果を反映させることができるのは次年度計画となるため、PDCAサイクルに空白期間が生じる。

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください(提出資料A)
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 <input checked="" type="radio"/> A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 <input type="radio"/> B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている <input type="radio"/> C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている(計画段階を含む) <input type="radio"/> D) その他()
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください 特になし

6 法人評価と認証評価との関係について

(略) 以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	<input checked="" type="radio"/> 両評価の対応組織は同一である <input type="radio"/> 連携して対応している <input type="radio"/> かならずしも連携が取れていない <input type="radio"/> それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めていますが <input checked="" type="radio"/> A) 中期目標期間を特段考慮していない <input type="radio"/> B) 考慮して7年を待たずに受審することがある <input type="radio"/> C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている	<input type="radio"/> ③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください 認証評価結果の踏まえ方について、明確な基準が無いことから、認証評価結果をどのように中期目標期間の評価に反省させるかという点について疑問が残る。	<input type="radio"/> → B)、C)の場合、右の③にもお答えください
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください 特になし	

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

特になし

1.1 公立大学法人会津大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	評価室		評価室	
②①の責任者の役職名・職位等	事務局長		事務局長	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	企画運営室、事務局企画連携課		企画運営室、事務局企画連携課	
④③の責任者の役職名・職位等	企画運営室長（学長）、企画連携課長		企画運営室長（学長）、企画連携課長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付けてください。	准教授	2年目	准教授	2年目
	主任主査兼計画広報係長	2年目	主任主査兼計画広報係長	2年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位 評価項目数	数値目標の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的	3					
		教育研究組織	1					
		教員及び教育支援者	4	1	5		5	
		学生の受入	2		4		4	
		教育内容及び方法（学士課程）	5	1	13	3	13	
		教育内容及び方法（大学院課程）	2		10		10	
		学習成果（教育内容・方法に同じ）	(7)		(23)		(23)	
		学生支援	2	1	16	1	16	
	研究	研究活動の状況	2		19	1	19	
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	5+5		21		21	
	国際化	教育の国際化の状況	1		5		5	
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営	3		6		6	
		人事の適正化	1		2		2	
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	2		7	1	7	
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	1		4		4	
		情報公表	1		3		3	
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	1		6	1	6	
		安全管理／人権	1		2		2	
		その他	1		12		12	
合計			13		135		135	

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

特になし

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
1月上旬	自己評価の作成開始～3月中旬
4月中旬	評価室会議による自己評価内容のチェック
5月上旬	評価室から自己評価者に対するフィードバックと自己評価内容の再調整
5月下旬	評価室会議による自己評価案の審議→業務実績報告書案作成
6月下旬	部局長会議、経営審議会、役員会で業務実績報告書の審議
6月末日	設置者（県）に提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

適正な評価を行うため、できるだけ広範な教職員の眼をとおすよう努めている。

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

特になし

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） D) その他（ ）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください 特になし

6 法人評価と認証評価との関係について

(略) 以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	●両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めて決めていますか A) 中期目標期間を特段考慮していない B) 考慮して7年を待たずに受審することがある C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている			③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 6年目	
→ B)、C)の場合、右の③にもお答えください				
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください 特になし				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください 中期目標・計画期間が6年であるにも関わらず、認証評価の期間が7年である不整合を解消してもらいたい。				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

特になし

12 公立大学法人名古屋市立大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	自己点検・評価委員会		自己点検・評価委員会	
②①の責任者の役職名・職位等	理事長		理事長	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	監査評価室		監査評価室	
④③の責任者の役職名・職位等	監査評価室長		監査評価室長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	主事	2年目	主事	2年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位 評価項目数	数値目標の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的	4		0		0	
		教育研究組織	2		4		6	
		教員及び教育支援者	2		5		4	
		学生の受入	2		4	1	3	
		教育内容及び方法（学士課程）	2		13		18	
		教育内容及び方法（大学院課程）	1		11		17	
		学習成果	1		2	1		
		学生支援	2		5	5	5	
	研究	研究活動の状況	4		12	3	16	
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	5		6	1	7	
国際化	教育の国際化の状況	2		4	2	4		
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営	1		1		1	
	人事の適正化	管理運営	3		4		4	
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	4		7	6	8	
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	1		2		3	
	情報公表	教育情報等の公表	1		3		3	
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	1		2		2	
	安全管理／人権	管理運営	2		3	1	3	
	その他	管理運営	3		6		13	
合計			43		94	20	117	0

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

中期計画における数値目標のうち、国家試験新卒者合格率（100%）、女性教員比率（27%）、経常利益比率（3%以上）については、いずれも実現性の観点よりも大学としての姿勢が重視され設定された数値であるため、達成が困難な状況にある。
これら数値目標についても可能な限りの取組みを進めたいが、組織としてのモチベーションを維持するのが課題と思われる。

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
平成25年10月	平成25年10月末時点の中間報告書の作成開始。
平成26年1月	学内の自己点検・評価委員会において中間報告書の確認。
同年3月	中間報告書の更新による平成25年度末時点の業務実績報告書作成の開始。
同年4月	集約した内容の学内における検討、業務実績報告書案の作成
同年5月	設置団体の担当部局との事前調整、自己点検・評価委員会において業務実績報告書案の確認
同年6月	審議会による確認、役員会による承認、業務実績報告書を設置団体へ正式提出。

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
平成23年4月	業務実績報告書の作成開始
同年5月	学内会議による確認、設置団体へ案を提出。
同年6月	審議会による確認、役員会による承認、業務実績報告書を設置団体へ正式提出。

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
平成20年11月	中間総括の実施案について、設置団体において作成。
平成21年4月	中間総括に係る報告書の作成開始
同年7月	学内会議による確認。
同年8月	中間総括に係る報告書を設置団体へ正式提出。

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

業務実績報告書における年度計画の各項目の取組状況について、全事項を万遍なく調査・質疑の対象としたうえで、その一部の事項が評価書に取り上げられており、成果物に比べて、かける人員・時間が見合っていない印象であり、予め重点評価項目を設定するなど効率化できる余地があると思われる。
--

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

評価結果における指摘・意見については法人の取組みとしては改革・改善に活用しており、その状況を評価委員会に報告・公表している。 しかしながら、指摘・意見の内容によっては、その対応について予算措置が必要な場合もあるが、中期目標・計画期間中においては限られた予算の範囲内で対応していくことが課題である。

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 <input checked="" type="radio"/> (A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 <input type="radio"/> (B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている <input type="radio"/> (C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） <input type="radio"/> (D) その他（ ）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください 法人評価に必要な情報については、業務実績報告書への記述及び添付する参考資料や追加提出資料を、その都度、学内に照会し提出させており、評価担当部署においても一元的な管理ができていない。

6 法人評価と認証評価との関係について

法人評価における大学の教育研究の特性への配慮については、地独法第79条では、「中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価を踏まえることとする」と定められています。また年度評価に際しては、評価委員会の判断で、教育研究については客観的外形的評価にとどめ、質的判断を示す評点による評価を行っていない評価委員会もあります。法人評価の実質化については、教育研究の特性に配慮するために、認証評価との関係の整理が必要との声がありますが、この課題について以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めてありますか A) 中期目標期間を特段考慮していない B) 考慮して7年を待たずに受審することがある C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている		→ B)、C)の場合、右の③にもお答えください	③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 5年目	
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください 第1期中期目標期間評価では、認証評価の結果について「基準に適合している」などの結論のみが掲載されており、より実質的に活用される方策を検討する必要がある。				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください 教育及び研究について法人評価と認証評価が二重評価となっているほか、認証評価と法人評価のサイクルが7年と6年になっており、認証評価を6年とせざるを得ないなど、両システム間の整合性がとれていない問題が放置されたままである。 二重評価の解消のためには、法人評価では教育及び研究に関し独自の評価を行わず認証評価に委ねるとともに認証評価の対象を教育及び研究に留めるなど、守備範囲の整理を行うことも考えられる。				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

特になし

1.3 公立大学法人滋賀県立大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名			自己評価委員会	
②①の責任者の役職名・職位等			自己評価委員会委員長 （評価担当理事）	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	事務局経営企画グループ		事務局経営企画グループ	
④③の責任者の役職名・職位等	グループ統括		グループ統括	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付けてください。	主事	1年目	◎副参事	5年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位 評価項目数	数値目標の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的						
		教育研究組織						
		教員及び教育支援者	1		2	1	2	
		学生の受入			1	3	1	
		教育内容及び方法（学士課程）	3		6	3	6	
		教育内容及び方法（大学院課程）	1		1		1	
		学習成果			2	2	2	
		学生支援	2		5	2	5	
	研究	研究活動の状況	3		4	4	5	
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	4		6	4	6	
国際化	教育の国際化の状況	2		5	6	5		
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営	1		3	1	2	
		人事の適正化	1		6	2	4	
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	2		4	2	4	
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	2		2		2	
		情報公表	1		2	1	2	
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	1		1		2	
		安全管理／人権	2		3	1	4	
		その他	1		1		1	
合計			27		54		54	

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

第一期中期計画期間の数値目標については、中期目標とともに県から示されたものであった。
第二期中期計画期間の数値目標については、大学自らが、中期目標・中期計画を達成するために設定した。

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
平成25年9月	年度計画の進行状況確認
平成26年3月	年度計画評価書原稿締切
平成26年4月	担当理事、担当グループ統括とのヒアリング/理事長協議/役員会議で最終調整し評価書素案を確定
平成26年5月	評価書素案に対して、学内の意見を聴取し、学内協議のうえ案を作成する。
平成26年6月	経営協議会、教育研究評議会、役員会に案を提出し、協議・修正のうえ決定後、法人評価員委員会あてに提出する

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

月	内容
平成24年4月	中期目標の実施期に関する報告素案検討
平成24年5月	役員会議、役員会で素案の審議、学内で意見を聴取し、案を作成する。
平成24年6月	役員会議で案の検討、経営協議会・教育研究評議会・役員会で審議し、修正のうえ決定後、法人評価委員会あてに提出する

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

月	内容

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について**(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。**

- ・法人評価の事務局が県であるため、県に向かった意見はなかなか出されない。
- ・本年度から大学に来ていただく機会ができ、大学のことを理解していただくうえで効果があった。

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

評価結果で期待される事項や課題となった事項を中心に継続的に取り組み、翌年度には状況について報告を行うこととしている。
大学の状況を理解し、実現可能なアドバイスとなっていると思う。

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）

②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。

A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。

B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている

C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）

D) その他（ ）

③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

法人評価や認証評価等に必要なデータは、大学運営にとっても必要なデータと重なることから、日常的に参照できるしくみが必要だと感じている。

6 法人評価と認証評価との関係について

法人評価における大学の教育研究の特性への配慮については、地独法第79条では、「中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価を踏まえることとする」と定められています。また年度評価に際しては、評価委員会の判断で、教育研究については客観的外形的評価にとどめ、質的判断を示す評点による評価を行っていない評価委員会もあります。法人評価の実質化については、教育研究の特性に配慮するために、認証評価との関係の整理が必要との声がありますが、この課題について以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めてしていますか A) 中期目標期間を特段考慮していない B) 考慮して7年を待たずに受審することがある C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている		→ B)、C)の場合、右の③にもお答えください	③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 5年目	
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください ・大学や評価について熟知した担当者が必要だと思う。 ・どのように踏まえるのか具体的な明示がされると踏まえやすいと思う。				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください ・レベルについては、開示されたデータで半自動的に評価を行い、課題について、検討を加えていくことが効率的ではないかと思う。				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

滋賀県は、現状では大学職員経験者が県の担当者となっているため、大学のことを理解したうえで、評価に関わることができる。
--

1.4 公立大学法人大阪市立大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	全学評価委員会		全学評価委員会	
②①の責任者の役職名・職位等	理事兼副学長		理事兼副学長	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	大学改革室		企画総務課企画調整担当	
④③の責任者の役職名・職位等	大学改革室次長		企画総務担当課長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	係長	2年目	係長	1年目
	事務補佐	1年目	係員	1年目
			事務補助	1年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位 評価項目数	数値目標の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的	0	0	0	0	0	0
		教育研究組織	1	0	1	0	1	0
		教員及び教育支援者	0	0	0	0	0	0
		学生の受入	1	0	3	3	3	3
		教育内容及び方法（学士課程）	4	0	6	0	6	11
		教育内容及び方法（大学院課程）	1	0	4	0	6	12
		学習成果	2	0	4	0	6	7
		学生支援	2	0	6	2	8	22
	研究	研究活動の状況	4	0	8	3	8	16
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	10	0	22	5	26	29
国際化	教育の国際化の状況	1	0	4	1	5	14	
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営	6	0	6	0	12	8
	人事の適正化	管理運営	1	0	3	0	3	0
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	2	0	4	1	4	5
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提出に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	1	0	2	0	2	1
	情報公表	教育情報等の公表	2	0	4	0	5	5
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	1	0	3	4	3	4
	安全管理／人権	管理運営	2	0	6	2	8	9
	その他	管理運営	2	0	3	0	4	2
合計			43	0	89	21	110	148

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

可能な限り定量化を進めているが、教育研究においては実質的な達成水準の設定が難しく課題がある。

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
4月	業務実績報告書作成作業の開始
4月～5月	集約した業務実績をもとに自己評価の学内における検討、各種会議による審議、報告書の作成
6月	業務実績報告書の提出。

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

月	内容
4月	業務実績報告書作成作業の開始
4月～5月	集約した業務実績をもとに自己評価の学内における検討、各種会議による審議、報告書の作成
5月	業務実績報告書の提出。

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

月	内容
4月	業務実績報告書作成作業の開始
4月～5月	集約した業務実績をもとに自己評価の学内における検討、各種会議による審議、報告書の作成
5月	業務実績報告書の提出。

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

法人評価において、大項目ごとの評価も行われているが、分類ごとの項目数に偏りがあり、評価の方法に課題がある。

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

--

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） D) その他（ ）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

6 法人評価と認証評価との関係について

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	<input checked="" type="checkbox"/> 連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めてありますか A) 中期目標期間を特段考慮していない B) 考慮して7年を待たずに受審することがある C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている			→ B)、C)の場合、右の③にもお答えください	③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 年目
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください 国立大学法人のように、法人評価と認証評価の関係が明確に提示されていないことに課題がある。				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

--

15 公立大学法人和歌山県立医科大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	公立大学法人和歌山県立医科大学 評価委員会		公立大学法人和歌山県立医科大学 評価委員会	
②①の責任者の役職名・職位等	理事（教育・研究担当）		理事（教育・研究担当）	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	事務局企画研究課		事務局企画研究課	
④③の責任者の役職名・職位等	企画研究課長		企画研究課長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と 評価業務経験年数（何年目でカウントしてくだ さい）。設立団体からの派遣職員の場合は職位 の前に◎を付けてください。	◎課長	2年目	◎課長	1年目
	◎副課長	2年目	◎副課長	1年目
	◎主査	4年目	主事	1年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期 目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大 学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標 の数	項目数	数値目標 の数	最小単位 評価項目 数	数値目標 の数
教育研究の質の 向上に関する事 項	教育	大学の目的	0	0	0	0	0	0
		教育研究組織	1	0	5	0	7	0
		教員及び教育支援者	0	0	0	0	0	0
		学生の受入	3	0	2	0	2	0
		教育内容及び方法（学士課程）			9	0	14	0
		教育内容及び方法（大学院課程）			9	0	11	0
		学習成果	(教育内容と統合)					
	学生支援	1	0	3	0	4	0	
	研究	研究活動の状況	2	0	8	0	9	0
地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	1	0	3	0	4	0	
国際化	教育の国際化の状況	1	0	2	0	3	0	
業務運営の改善及び効率化に 関する事項	経営戦略／機動的運営 （項目）	管理運営	2	0	3	0	4	0
		人事の適正化	1	0	3	0	3	0
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	3	0	6	0	11	0
教育及び研究並びに組織及び運営 の状況について自ら行う点検及び 評価並びに当該状況に係る情報の 提供に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	1	0	1	0	1	0
		情報公表	1	0	1	0	1	0
その他業務運営 に関する重要事 項	施設・設備の整備等	施設・整備	1	0	1	0	2	0
	安全管理／人権	管理運営	2	0	3	0	5	0
	その他	管理運営	3	0	15	0	26	0
合計			23	0	73	0	107	0

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

高水準で推移している数値については、その水準を維持すること自体に多大な努力が必要であり、評価されているが、その水準を少しでも前年度を下回ると、悪い評価をされることがあり得る。

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
3月	事業報告書作成作業の開始
4月	達成状況の集約
5月	学内の評価委員会における報告書案の検討、教育研究審議会における報告書案の審議
6月	経営審議会における報告書案の審議、理事会による報告書案の承認、業務実績報告書の提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
平成24年4月	事業報告書作成作業の開始、達成状況の集約
平成24年5月	学内の評価委員会における報告書案の検討、教育研究審議会における報告書案の審議
平成24年6月	経営審議会における報告書案の審議、理事会による報告書案の承認、業務実績報告書の提出

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
平成22年10月	中期計画一覧表（中間評価）作成作業の開始
平成23年1月	学内の評価委員会における中間自己評価案の検討、教育研究審議会における中間自己評価案の審議
平成23年2月	経営審議会における中間自己評価案の審議
平成23年3月	理事会による中間自己評価案の承認、中期計画一覧表（中間評価）の提出

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について**(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。**

--

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

業務実績に対する評価及び指摘事項等について法人評価委員会から示される提言において、県が取り組むべき課題であっても法人への提言として示され、対応に苦慮することがある。

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 <input checked="" type="radio"/> A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 <input type="radio"/> B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている <input type="radio"/> C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） <input type="radio"/> D) その他（ ）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください 法人評価委員会から意見を述べる機会を与えられるが、各年度に1度限りであるため、意見を述べきれないことがある。 また、法人評価委員会の事実誤認を説明しても、受け入れられない場合がある。

6 法人評価と認証評価との関係について

法人評価における大学の教育研究の特性への配慮については、地独法第 79 条では、「中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価を踏まえることとする」と定められています。また年度評価に際しては、評価委員会の判断で、教育研究については客観的外形的評価にとどめ、質的判断を示す評点による評価を行っていない評価委員会もあります。法人評価の実質化については、教育研究の特性に配慮するために、認証評価との関係の整理が必要との声がありますが、この課題について以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮にいて決めていますか	A) 中期目標期間を特段考慮していない B) 考慮して7年を待たずに受審することがある C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている		③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。	年目
→ B)、C)の場合、右の③にもお答えください				
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください				
事業年度の業務実績については毎年度、中期目標期間の業務実績については6年毎に法人評価を受けており、公益財団法人大学基準協会による認証評価（機関別認証評価）を7年毎に受けている。また、この他、附属病院を有する本学は公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価を5年毎に受けており、今後はさらに医学教育の分野別認証評価も受けることとなる。複数の評価を絶えず受ける続けることに評価疲れを覚えることがあるため、重複する評価内容については一つにまとめられることが望ましい。				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

本アンケート調査 回答様式Ⅱの2（1）について

- ・本学の助産学専攻科に関する項目数は大学院課程の項目数に合算
- ・本学の附属病院に関する項目数は「その他業務運営に関する重要事項—その他—管理運営」に記載

16 公立大学法人山口県立大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	—		教育研究活動等点検評価委員会	
②①の責任者の役職名・職位等	—		委員長	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	経営企画部		経営企画部	
④③の責任者の役職名・職位等	経営企画部長		経営企画部長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	◎企画グループリーダー	2年目	◎企画グループリーダー	2年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		26年度計画		
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位 評価項目数	数値目標の数	
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的							
		教育研究組織							
		教員及び教育支援者			<3>		<3>		
		学生の受入		<1>		<2>	<1>	<2>	
		教育内容及び方法（学士課程）		1		17	11	17	4
		教育内容及び方法（大学院課程）		<1>		2<1>	2	2<1>	
		学習成果		<1>		<1>		<1>	
	学生支援		1		3	1	3	1	
	研究	研究活動の状況		1		5	5	5	1
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況		1		7<2>	3<2>	7<2>	2<1>
国際化	教育の国際化の状況				<4>	<4>	<4>		
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営		1		4		4	
	人事の適正化	管理運営		<1>		3		3	
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤		1		5	2	5	
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム		1		1		1	
	情報公表	教育情報等の公表		<1>		<1>		<1>	
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備		1		1		1	
	安全管理／人権	管理運営		1		1		1	
	その他	管理運営		1		1		1	
合計				10		50	24	50	9

※<>内は、再掲した項目数(外数)です。

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

計画の内容の分かりやすさ及び評価の妥当性・客観性等の観点から、計画に掲げた全ての項目に数値目標を盛り込むことが適切と考えるが、計画の策定に当たっては困難な面も感じている。

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
平成26年4月	事業報告書作成の開始
5月	達成状況の集約・整理（関係部局のヒアリング等を実施）、業務実績報告書案の作成
6月	理事長等による確認・評価、審議機関による承認、業務実績報告書の提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
平成24年4月	事業報告書作成の開始
5月	達成状況の集約・整理（関係部局のヒアリング等を実施）、業務実績報告書案の作成
6月	理事長等による確認・評価、審議機関による承認、業務実績報告書の提出

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
平成22年7月	総合評価報告書作成の開始
9月	総合評価状況の集約・整理（関係部局のヒアリング等を実施）
12月	中間報告を作成
平成23年3月	理事長（学長）による評価、審議機関による承認、報告書の作成（→認証評価に活用）

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について**(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。**

特になし

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

特になし

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A） 業務実績報告書中に関係するデータ等を掲載しているので、参照されたい。 http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cmsdata/7/4/2/742f8925e54d6e8419691bc62ebd3dcc.pdf
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 <input checked="" type="radio"/> A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 <input type="radio"/> B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている <input type="radio"/> C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） <input type="radio"/> D) その他（ ）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください 計画の内容に応じて一概とはいえないが、具体的な指標や基準等があれば、法人評価を行うに当たり、客観性が担保され、また評価の効率化にもつながるものとする。

6 法人評価と認証評価との関係について

法人評価における大学の教育研究の特性への配慮については、地独法第79条では、「中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価を踏まえることとする」と定められています。また年度評価に際しては、評価委員会の判断で、教育研究については客観的外形的評価にとどめ、質的判断を示す評点による評価を行っていない評価委員会もあります。法人評価の実質化については、教育研究の特性に配慮するために、認証評価との関係の整理が必要との声がありますが、この課題について以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めてありますか		③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。		
A) 中期目標期間を特段考慮していない		} → B)、C)の場合、右の③にもお答えください	6 年目	
B) 考慮して7年を待たずに受審することがある				
C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている				
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください 特になし				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください 特になし				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

<p>第三者機関による認証評価への対応について、申請に向けた準備作業等を含め多大な事務処理が必要となっている。法定事項であり、引き続き定期的な認証評価を得ていく必要があるため、認証機関等において申請手続き等について何らかの簡素化を検討いただきたい。</p>
--

17 公立大学法人九州歯科大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	企画広報班		企画広報班	
②①の責任者の役職名・職位等	班長		班長	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	企画広報班		企画広報班	
④③の責任者の役職名・職位等	班長		班長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	◎班長	3年目	◎班長	3年目
	主事	1年目	主事	1年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位 評価項目数	数値目標の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的	4					
		教育研究組織						
		教員及び教育支援者		1	2	2	3	
		学生の受入		1	22	3	22	
		教育内容及び方法（学士課程）		1	4	4	5	
		教育内容及び方法（大学院課程）		1	5	3	5	
		学習成果						
		学生支援		1	7	3	6	
	研究	研究活動の状況		4	10	4	9	
		地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	2	4	14	4	14
	国際化	教育の国際化の状況	1	2	1	2		
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営	管理運営	1	2	1	6	4	
	人事の適正化	管理運営	1		1			
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	1	3	8	5	9	
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提出に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	1	1		1		
	情報公表	教育情報等の公表	1	1		2		
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備						
	安全管理／人権	管理運営		2	1	2	1	
	その他	管理運営						
合計								

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

なし

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成 25 年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
3～	学内説明会、作成作業開始
4～5月	集約、関係者による協議
6月	理事会において承認、学事課へ正式書類提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

なし

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

なし

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 <input checked="" type="radio"/> B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） D) その他（ ）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください 各教職員において、評価の基準に意識の差がある。

6 法人評価と認証評価との関係について

(略) 以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めてありますか A) 中期目標期間を特段考慮していない B) 考慮して7年を待たずに受審することがある <input checked="" type="radio"/> C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている	→ B)、C)の場合、右の③にもお答えください		③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 5年目	
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください なし				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください なし				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

なし

18 公立大学法人福岡女子大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	自己点検・評価委員会		自己点検・評価委員会認証評価部会	
②①の責任者の役職名・職位等	副学長・教授		副学長・教授	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	経営企画室		経営企画室	
④③の責任者の役職名・職位等	室長（副理事長）		室長（副理事長）	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職立と評価業務遂行年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職立の前に◎を付してください。	◎主任主事	2年目	◎事務主査	1年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

大分類 ※法定事項	中期目標の分類		中期目標		中期計画		年度計画		
	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位 評価項目数	数値目標の数	
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的							
		教育研究組織							
		教員及び教育支援者			1	0	1	0	
		学生の受入		1		2	1	2	1
		教育内容及び方法（学士課程）		1		12	9	12	19
		教育内容及び方法（大学院課程）				2	0	2	0
		学習成果				1	1	1	1
		学生支援		1		2	1	2	1
	研究	研究活動の状況		1		4	7	4	7
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況		1		6	14	6	16
	国際化	教育の国際化の状況		(1)		1	2	1	5
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略/機動的運営（項目）	管理運営		1		1	0	1	0
	人事の適正化	管理運営		(1)		(1)	(0)	(1)	(0)
財務内容の改善に関する事項	財務運営/資産管理	財務基盤		1		3	3	3	5
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム		2		2	1	2	1
	情報公表	教育情報等の公表		1		1	0	1	0
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備							
	安全管理/人権	管理運営				1	0	1	0
	その他	管理運営							
合計				10	0	39	54	39	71

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

・中期計画策定時点で設定した数値目標が、状況の変化等により、適切でなくなった場合に、どうするか。

19 公立大学法人福岡県立大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	中期（年度）計画責任者・担当代表者会議		自己点検評価室	
②①の責任者の役職名・職位等	教員理事		教員理事	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	経営管理部経営企画班		経営管理部経営企画班	
④③の責任者の役職名・職位等	経営企画班長		経営企画班長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職立と評価業務遂行年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職立の前に◎を付してください。	◎経営企画班長	1年目	◎経営企画班長	1年目

※法人評価責任者の教員理事と認証評価責任者の教員理事は別人。

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

大分類 ※法定事項	中期目標の分類		中期目標		中期計画		年度計画					
	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位評価項目数	数値目標の数				
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的	1									
		教育研究組織							2	2		
		教員及び教育支援者							1	7	3	3
		学生の受入							1	10	2	10
		教育内容及び方法（学士課程）							2	12	7	11
		教育内容及び方法（大学院課程）								4	2	5
		学習成果							1	8	2	8
		学生支援							2	13	6	13
	研究	研究活動の状況	1	1	17	3	15					
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	1		2	14	8	26				
国際化		教育の国際化の状況							1	4	3	4
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営	1		1	2	3	2				
	人事の適正化	管理運営										
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	1		2	1	3	2				
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	1		1	5	1					
	情報公表	教育情報等の公表										
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	-		-		1					
	安全管理／人権	管理運営										
	その他	管理運営										
合計			6	0	18	97	47	105				

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

--

20 公立大学法人熊本県立大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	自己点検評価委員会		自己点検評価委員会	
②①の責任者の役職名・職位等	自己点検評価委員長・理事長		自己点検評価委員長・理事長	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	企画調整室		企画調整室	
④③の責任者の役職名・職位等	企画調整室長		企画調整室長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	◎参事	2年目	◎企画調整室長	2年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位評価項目数	数値目標の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的						
		教育研究組織	1	0	2	0	2	0
		教員及び教育支援者	2	0	2	0	2	0
		学生の受入	2	0	2	0	2	1
		教育内容及び方法（学士課程）	4	0	11	1	11	0
		教育内容及び方法（大学院課程）			2	0	2	0
		学習成果	2	0	5	1	5	0
	学生支援	4	0	6	0	6	0	
	研究	研究活動の状況	6	0	8	0	8	0
地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	3	0	3	0	3	0	
国際化	教育の国際化の状況	2	0	3	0	3	0	
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営	4	0	4	0	4	0
	人事の適正化	管理運営	2	0	4	0	4	0
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	2	0	5	0	5	0
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提出に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	1	0	1	0	1	0
	情報公表	教育情報等の公表	1	0	2	0	2	0
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	1	0	1	0	1	0
	安全管理／人権	管理運営	3	0	4	0	4	0
	その他	管理運営						
合計			40	0	65	2	65	1

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

中期計画のいくつかの項目に数値目標を設けているが、数値化することになじまないものも多い。また、数値化をすると、議論がその数値に偏ってしまうという課題もある。

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
H25.11	当該年度の進行状況について、自己点検・評価委員会で確認
H26.2	平成25年度の業務実績に係る自己点検・評価についての作業開始
H26.3	自己点検・評価委員会において、各進行管理責任者が点検・評価した内容について審議
H26.6	自己点検・評価委員会において、業務実績に係る自己点検・評価の最終案について審議 教育研究会議、経営会議、理事会にて審議後、決裁 業務実績に係る自己点検・評価の最終案をもとに、業務実績報告書を作成し、提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
H23.11	当該年度及び中期計画の進行状況について、自己点検・評価委員会で確認
H24.2	中期計画期間の業務実績に係る自己点検・評価についての作業開始
H24.3	自己点検・評価委員会において、各進行管理責任者が点検・評価した内容について審議
H24.5	自己点検・評価委員会において、中期計画期間の業務実績に係る自己点検・評価の最終案について審議
H24.6	教育研究会議、経営会議、理事会にて審議後、決裁 中期計画期間の業務実績に係る自己点検・評価の最終案をもとに、業務実績報告書を作成し、提出

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
	実施していない。

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

法人評価委員会では、教育に関する事項について、外形的評価にとどめることとされているが、大学評価では、教育についての議論が多く行われているところ。議論の結果を業務実績評価書にもっと反映させることで、本学の実績をより明確に示せるのではないか。

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

各年度の法人評価結果は、次年度の業務実績の進行管理や次々年度の年度計画の策定の際に、それを踏まえることとしており、法人運営への反映は行っている。また、中期計画の策定にあたっては、それまでの各年度の法人評価結果を踏まえており、法人運営への反映は行っている。

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 <input checked="" type="radio"/> A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 <input type="radio"/> B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている <input type="radio"/> C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） <input type="radio"/> D) その他（ ）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください 業務実績にかかる数値データの収集にあたり、年度末にしか確定できないデータもあるため、照会からとりまとめまでの作業時間を十分に確保できない。

6 法人評価と認証評価との関係について

（略）法人評価の実質化については、教育研究の特性に配慮するために、認証評価との関係の整理が必要との声がありますが、この課題について以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めてありますか A) 中期目標期間を特段考慮していない B) 考慮して7年を待たずに受審することがある C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている		→ B)、C)の場合、右の③にもお答えください	③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 6年目	
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください 認証評価結果を中期計画の期間に合わせ、中期計画策定の前年受審することとしており、評価結果を次期中期計画に反映できている。				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください 評価の実質化と作業の省力化とのバランス				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

特になし

2 1 公立大学法人大分県立看護科学大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	役員会（学内）、総務グループ（事務局）		自己評価委員会、総務グループ（事務局）	
②①の責任者の役職名・職位等	理事長、理事（学内）		自己評価委員会委員長、事務局長	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	総務グループ（事務局）		総務グループ（事務局）	
④③の責任者の役職名・職位等	理事兼事務局長		理事兼事務局長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付けてください。	理事兼事務局長	1年目	理事兼事務局長	1年目
	◎グループリーダー（課長補佐）	3年目	◎グループリーダー（課長補佐）	3年目
	◎主査	1年目	◎主査	1年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位 評価項目数	数値目標 の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的	1					
		教育研究組織						
		教員及び教育支援者						
		学生の受入			1		2	
		教育内容及び方法（学士課程）			1		1	
		教育内容及び方法（大学院課程）			2		4	
		学習成果	1		1		2	
		学生支援	1		4	2	8	
	研究	研究活動の状況	2		4		5	
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	1		3		5	
国際化	教育の国際化の状況	1		2		5		
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略/機動的運営（項目）	管理運営	1		4		9	
	人事の適正化	管理運営	1		5		8	
財務内容の改善に関する事項	財務運営/資産管理	財務基盤	3		10		19	
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	1		2		4	
	情報公表	教育情報等の公表	1		3		6	
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	1		2		5	
	安全管理/人権	管理運営	2		5		12	
	その他	管理運営						
合計			17		49	2	95	

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

・特になし

3 事業報告書作成のスケジュール

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
3月	平成25年度実施状況の学内照会
5月	平成25年度実施状況集約内容の学内検討・実績報告書（案）の作成
6月	設置団体との事前調整、学内理事による最終チェック
6月	教育研究審議会及び理事会・経営審議会への付議・承認。設置団体へ提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
—	—

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
—	—

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

・評価委員に対し、年度実績等について事前説明する機会はあるものの、他の機会は委員会の際のみであり、実績についての説明を行う時間が少ない。
--

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

・特になし

5 法人評価のための情報収集等について

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 <input type="radio"/> A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 <input type="radio"/> B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている <input type="radio"/> C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） <input type="radio"/> D) その他（ ）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください ・特になし

6 法人評価と認証評価との関係について

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めていらっしゃいますか <input type="radio"/> A) 中期目標期間を特段考慮していない <input checked="" type="radio"/> B) 考慮して7年を待たずに受審することがある <input type="radio"/> C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている			③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 年目	→ B)、C)の場合、右の③にもお答えください
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください ・中期計画期間の評価において、認証評価における教育研究活動等の質保証（評価結果）は特に活用していない現状となっている。				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください ・大学においては、学内における教職員評価や学生による授業評価など様々な評価が重層的に行われており、種々の評価作業に伴う教職員の負担が多くなっている。大学の外部評価（質保証）の重要性は認識するものの、認証評価による質保証は、ステークホルダーに対して有為なものとなっているのか、法人評価と認証評価の一体的実施などについて検討が望まれる。				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

・国立大学法人の評価方法の見直しに準じ、中期計画期間の暫定評価の廃止や項目数の削減などが見直しが行われている。 ・本学においては、評価委員会の際に業務実績におけるアピールポイントを抽出・精査し、評価委員に説明を行っているが、限られた時間内で理解を得るのは、困難な側面が伺える。

2.2 公立大学法人大分県立芸術文化短期大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	年度計画検討委員会		—	
②①の責任者の役職名・職位等	事務局長			
③評価を直接担当する組織・セクション名等	事務局 総務企画部			
④③の責任者の役職名・職位等	総務企画部長			
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	◎総務企画部長	1年目		年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位評価項目数	数値目標の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的	1					
		教育研究組織	1					
		教員及び教育支援者						
		学生の受入						
		教育内容及び方法（学士課程）	1		3		7	
		教育内容及び方法（大学院課程）						
		学習成果	1		3		7	
		学生支援	1		3	1	8	
	研究	研究活動の状況	2		4		4	
		地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	1		2		2
	国際化	教育の国際化の状況	1		2		3	
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営	1		3		5	
	人事の適正化	管理運営	2		4		4	
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	3		8		10	
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提出に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	1		1		1	
	情報公表	教育情報等の公表	1		2		3	
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	1		1		1	
	安全管理／人権	管理運営	2		4		8	
	その他	管理運営			9		9	
合計			20		49		72	

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

特になし。

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
4	事業報告書作成作業開始
5	達成状況を集約した内容の学内における検討（年度計画検討委員会開催）、報告書案の作成
6 月上旬	大学と担当部局との事前調整、年度計画検討委員会確認
6 月中旬	事務局長、学長によるチェック、教研審、理事会・経営審議会による承認、実績報告書提出
7 月上旬、下旬	第1回評価委員会（8日） 第2回評価委員会（28日）

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
	無

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
	無

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

評価の手順、方法は適切であると思うが、事前に大学を視察するなどして、現状について把握しておくとも必要と考える。

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

評価結果については、年度計画等に反映させるよう努めている。
現時点で、特に課題はない。

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）

②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。
 A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。
 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
 C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
 D) その他（ ）

③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください
 情報（資料）については、大学側から事業説明する際に必要と思われるものを事前に取り揃え、提供している。
 委員からの求めや、質問等があった場合に追加提出する場合もあるが、特段課題はない。

6 法人評価と認証評価との関係について

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めていきますか A) 中期目標期間を特段考慮していない B) 考慮して7年を待たずに受審することがある C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている			③ ②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 年目	→ B)、C)の場合、右の ③にもお答えください
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

--

2.3 北海道公立大学法人札幌医科大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	中期計画等推進委員会		自己点検評価委員会	
②①の責任者の役職名・職位等	理事長・学長		理事長・学長	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	事務局経営企画課		事務局経営企画課	
④③の責任者の役職名・職位等	経営企画課長		経営企画課長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付けてください。	◎主幹	1年目	◎主幹	1年目
	◎係長	1年目	◎係長	1年目
	主任	3年目	主任	3年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位評価項目数	数値目標の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的						
		教育研究組織						
		教員及び教育支援者	1		2	1	3	
		学生の受入	1		4		6	
		教育内容及び方法（学士課程）	1		8		15	
		教育内容及び方法（大学院課程）	1		1		3	
		学習成果				1	2	
		学生支援	1		1	1	4	
	研究	研究活動の状況	2		5	1	10	
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	5	1	9	4	23	
	国際化	教育の国際化の状況	1		2		7	
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営	2		2	1	3	
	人事の適正化	管理運営	1		1		3	
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	5	1	6	4	12	
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提出に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	1		1		3	
	情報公表	教育情報等の公表	1		1	1	3	
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	2		2		3	
	安全管理／人権	管理運営	2		2		7	
	その他	管理運営	4		10	2	19	
合計			31	2	57	16	126	

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

特になし

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
3月	業務実績報告書作成作業の開始
5月	中期計画推進委員会にて報告書素案の作成 素案について学内意見の募集
6月	設置団体の担当部局との事前調整 中期計画推進委員会にて報告書案の作成 学内会議にて審議 業務実績報告書の提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
3月	業務実績報告書作成作業の開始
4月	設置団体の担当部局との事前調整
5月	中期計画推進委員会にて報告書素案の作成 素案について学内意見の募集
6月	中期計画推進委員会にて報告書案の作成 学内会議にて審議 業務実績報告書の提出

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

月	内容
3月	業務実績報告書作成作業の開始
5月	中期計画推進委員会にて報告書素案の作成 素案について学内意見の募集
6月	設置団体の担当部局との事前調整 中期計画推進委員会にて報告書案の作成 学内会議にて審議 業務実績報告書の提出

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について**(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。**

公立大学法人に関する法人評価及び認証評価については、全国的に多様な評価基準が存在しており、統一の基準の設定など、制度の改善が望まれる。

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

下記6⑤と同じ

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）

②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。

- A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。
 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
 C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
 D) その他（ ）

③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

現時点では特段の課題などはないが、他大学のIRへの対応について先進的な事例などを情報提供いただき、参考としたい。

6 法人評価と認証評価との関係について

法人評価における大学の教育研究の特性への配慮については、地独法第79条では、「中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価を踏まえることとする」と定められています。また年度評価に際しては、評価委員会の判断で、教育研究については客観的外形的評価にとどめ、質的判断を示す評点による評価を行っていない評価委員会もあります。法人評価の実質化については、教育研究の特性に配慮するために、認証評価との関係の整理が必要との声がありますが、この課題について以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めてありますか		③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 年目		
A) 中期目標期間を特段考慮していない B) 考慮して7年を待たずに受審することがある C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている		→ B)、C)の場合、右の ③にもお答えください		
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください 特になし				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください 地独法第79条の「踏まえる」内容の詳細な解釈について示されると、評価委員会においても評価がスムーズに行われ、大学も設置団体も負担軽減が図られると考える。				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

法人評価のモデル、内部質保証システムに関するモデルを公立大学協会等において検討していただけると、統一した考えに基づいて業務がスムーズに行われると考えられる。
--

2.4 公立大学法人福井県立大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	教育研究審議会		教育研究審議会	
②①の責任者の役職名・職位等	学長		学長	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	経営企画部		経営企画部	
④③の責任者の役職名・職位等	部長		部長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付けてください。	◎部長	4年目	◎部長	4年目
	◎大学戦略室長	2年目	◎大学戦略室長	2年目
	◎主任	1年目	◎主任	1年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位評価項目数	数値目標の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的						
		教育研究組織						
		教員及び教育支援者	2		2		2	
		学生の受入	1		2	1	2	1
		教育内容及び方法（学士課程）	3		4	1	4	2
		教育内容及び方法（大学院課程）	1		1		1	
		学習成果						
		学生支援	5		6	1	6	1
	研究	研究活動の状況	3		4		4	1
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	6		8	1	8	1
国際化	教育の国際化の状況	2		5	2	5		
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営	1		1	1		
	人事の適正化	管理運営	1		1		1	
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	2		3		3	1
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提出に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	2		4		3	
	情報公表	教育情報等の公表	2		4		4	
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	1		1		1	
	安全管理／人権	管理運営	2		3		3	
	その他	管理運営	2		2		2	
合計			36		51	7	49	7

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

--

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
3月	事業報告書作成作業の開始
5月	報告書案の作成
6月	教育研究審議会、理事会、経営審議会による承認、業務実績報告書の提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
平成25年3月	事業報告書作成作業の開始
平成25年5月	報告書案の作成
平成25年6月	教育研究審議会、理事会、経営審議会による承認、業務実績報告書の提出

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
作成していない	

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

--

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

--

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） D) その他（ ）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

6 法人評価と認証評価との関係について

(略) 以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	●両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めてありますか A) 中期目標期間を特段考慮していない B) 考慮して7年を待たずに受審することがある C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている	→ B)、C)の場合、右の③にもお答えください		③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 年目	
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

--

25 静岡県公立大学法人

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	静岡県公立大学法人中期・年度計画推進委員会		大学認証評価委員会	
②①の責任者の役職名・職位等	法人理事（教育研究担当）		学長	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	静岡県公立大学法人中期・年度計画推進委員会作業部会		教育研究推進部企画調整室	
④③の責任者の役職名・職位等	大学事務局次長兼短期大学部事務部長		教育研究推進部長兼企画調整室長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	◎大学事務局次長兼短期大学部事務部長	1年目	副参事	2年目
	◎教育研究推進部長兼企画調整室長	2年目		年目
	◎副参事	2年目		年目
	◎副参事	1年目		年目
	有期雇用職員	4年目		年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画		
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位評価項目数	数値目標の数	
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的	14		72	13	103	14	
		教育研究組織							
		教員及び教育支援者							
		学生の受入							
		教育内容及び方法（学士課程）							
		教育内容及び方法（大学院課程）							
		学習成果							
	学生支援	3		10		20	2		
研究	研究活動の状況	6		26	1	28	1		
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	4		14	2	27	3	
	国際化	教育の国際化の状況	2		9	1	13	1	
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営	2		6		10		
		人事の適正化	管理運営	3		5	1	9	1
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	3		8	1	9	1	
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提出に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	1		1		3		
		情報公表	教育情報等の公表	2		3		8	
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	1		1		1		
		安全管理／人権	管理運営	3		9	1	21	1
		その他	管理運営	2		2		5	
合計			46	0	166	20	257	24	

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

数値目標の適正な設定が難しい。理想を掲げて高く設定すると、達成に時間がかかり、その間評価が低くなってしまいます。数値目標は、評価するには判断しやすいが、設定値次第で評価が大きく変わってしまう。

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
2月	事業報告書作成作業の開始
4月	作業部会開催（達成状況の集約した内容の学内における検討、報告書案の作成）
5月	推進委員会開催（達成状況の集約した内容の学内における再検討、報告書案の作成）
6月	教育研究審議会開催（学内最終案の審議）
6月	経営審議会開催（法人の経営に関する事項の審議）
6月	役員会開催（知事の認可を受けなければならない事項の議）
6月	業務実績報告書の提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
	年度実績報告書作成スケジュールに同じ

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

社会情勢等により達成が困難なため、法人の計画では当初から記載していない項目であっても、評価機構から評価対象とされている。

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

--

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） D) その他（ ）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

6 法人評価と認証評価との関係について

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮にいれて決めていますか			③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。	
A) 中期目標期間を特段考慮していない B) 考慮して7年を待たずに受審することがある C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている			→ B)、C)の場合、右の ③にもお答えください	
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

--

26 愛知県公立大学法人

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	年度計画自己点検委員会（県大）、 年度計画検討会（芸大）		認証評価ワーキング・グループ（県大）、 大学認証評価委員会（芸大）	
②①の責任者の役職名・職位等	学長（2大学）		副学長（県大）、学長（芸大）	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	経営財務部門経営企画課（2大学）		県立大学事務部門県大総務課 芸術大学事務部門芸術情報課	
④③の責任者の役職名・職位等	経営財務部門長		県立大学事務部門長 芸術大学事務部門長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	◎経営企画課長	2年目	◎県大総務課長	2年目
	◎経営企画第二係長	1年目	学務課課長補佐（芸大）	1年目
	◎経営企画課主任	3年目		年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画		
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位評価項目数	数値目標の数	
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的							
		教育研究組織							
		教員及び教育支援者							
		学生の受入		2		5		5	
		教育内容及び方法（学士課程）		7		23	2	23	2
		教育内容及び方法（大学院課程）		2		5		5	
		学習成果							
		学生支援		2		11		11	
	研究	研究活動の状況		2		9	2	9	2
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況		2		12	2	12	2
	国際化	教育の国際化の状況							
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営		2		6	1	6	1
		人事の適正化	管理運営		1		4	1	4
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤		1		3	1	3	1
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	自己点検評価 情報公表	教育の内部質保証システム		1		1		1	
		教育情報等の公表		1		2		2	
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備		1		4		4	
	安全管理／人権	管理運営		1		1		1	
	その他	管理運営				2		2	
合計									

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

--

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成 25 年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
3月～	報告書案の作成
5月	学長、事務部門長等の最終チェック
5～6月	設置団体の担当部局との事前調整
6月	役員会による承認、業務実績報告書の提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
3月～	報告書案の作成
5月	学長、事務部門長等の最終チェック
5～6月	設置団体の担当部局との事前調整
6月	役員会による承認、業務実績報告書の提出

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

--

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

--

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 <input checked="" type="radio"/> A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 <input type="radio"/> B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている <input type="radio"/> C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） <input type="radio"/> D) その他（ ）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください

6 法人評価と認証評価との関係について

(略) 以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	<input checked="" type="radio"/> それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めてありますか			③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 5または6年目	
<input type="radio"/> A) 中期目標期間を特段考慮していない <input checked="" type="radio"/> B) 考慮して7年を待たずに受審することがある <input type="radio"/> C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている			→ B)、C)の場合、右の③にもお答えください	
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください 中期目標期間の評価において、認証評価結果がどのように反映されたか不明確である。				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

--

2.7 公立大学法人神戸市外国語大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	なし		大学評価編集委員会	
②①の責任者の役職名・職位等	なし		教授	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	経営企画室経営企画グループ		経営企画室経営企画グループ	
④③の責任者の役職名・職位等	経営企画室長		経営企画室長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	◎経営企画グループ係長	1年目	◎経営企画グループ係長	1年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位評価項目数	数値目標の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的	-	-	-	-	-	-
		教育研究組織	-	-	-	-	-	-
		教員及び教育支援者	-	-	-	-	-	-
		学生の受入	1	-	1	1	1	1
		教育内容及び方法（学士課程）	1	-	3	4	3	4
		教育内容及び方法（大学院課程）	1	-	2	-	2	-
		学習成果	1	-	1	-	1	-
		学生支援	1	-	2	4	2	4
	研究	研究活動の状況	3	-	5	4	5	4
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	5	-	8	12	8	12
国際化	教育の国際化の状況	3	-	4	9	4	9	
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営	1	-	3	2	3	2
	人事の適正化	管理運営	1	-	2	4	2	4
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	1	-	3	4	3	4
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提出に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	1	-	1	-	1	-
	情報公表	教育情報等の公表	1	-	1	4	1	4
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	-	-	1	-	1	-
	安全管理／人権	管理運営	-	-	1	-	1	-
	その他	管理運営	-	-	4	1	4	1
合計			21	-	42	49	42	49

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

一度定めた数値目標の達成が難しい状況であっても、変更をするためには議会での審議が必要であるため、数値目標を変更することが非常に難しいと感じる。

そのため、変更前の数字に縛られてしまい、目標と実態との乖離が続いてしまう。

3 事業報告書作成のスケジュール

(1) 平成 25 年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
3月	事業報告書作成作業の開始
4月	達成状況の集約した内容の学内における検討、報告書案の作成
5月	設置団体の担当部局との事前調整、理事長、事務局長等の最終チェック、審議会等による承認
6月	業務実績報告書の提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

事業報告書の作成を事務局中心で行っており、各部会等を通じて案の作成に協力してもらっているが、さらなる教員の参画が課題である。

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

評価結果については、役員会を通じて各部会にフィードバックする仕組みを構築することにより、問題等の共有化を図り改善に努めている。しかし、経営部門は比較的スピード感を持って改善できているが、教学部門については議論に時間がかかりなかなか反映できていないのが実態である。そのため、教学部門への反映が課題となっている。

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）

②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。
 A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。
 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
 C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
 D) その他（ ）

③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください
 必要な情報については、本学独自のファクトブックで項目等を整理しており、必要な情報は収集できている。今後の課題としては、ファクトブック以外の項目でどのような情報を整理するのかについて、IRの観点から検討が必要であると認識している。

6 法人評価と認証評価との関係について

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めていらっしゃいますか A) 中期目標期間を特段考慮していない <input checked="" type="radio"/> B) 考慮して7年を待たずに受審することがある C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている		→ B)、C)の場合、右の③にもお答えください	③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 6 年目	
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください 認証評価の受審年度を早めることにより、認証評価の結果を反映した中期目標を策定できる見込みである。				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください 公立大学に実態に即した評価制度を構築して欲しい。				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

法人評価の結果や課題等について、毎週開催される役員打合せ会で報告するとともに、必要に応じてその案件を担当している部会の代表等にも役員打合せ会に参加してもらい議論している。その結果、効果的かつ効率的にPDCAサイクルを推進することが可能となった。

28 公立大学法人奈良県立医科大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	中期計画執行役員会議		なし	
②①の責任者の役職名・職位等	理事長		なし	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	法人企画部財務企画課		法人企画部財務企画課	
④③の責任者の役職名・職位等	財務企画課長		財務企画課長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	◎企画係長	2年目	◎企画係長	2年目
	企画係員	4年目	企画係員	4年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位評価項目数	数値目標の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的						
		教育研究組織						
		教員及び教育支援者						
		学生の受入						
		教育内容及び方法（学士課程）						
		教育内容及び方法（大学院課程）						
		学習成果						
		学生支援						
	研究	研究活動の状況						
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況						
	国際化	教育の国際化の状況						
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営						
		人事の適正化	管理運営					
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤						
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム						
		情報公表	教育情報等の公表					
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備						
		安全管理／人権	管理運営					
		その他	管理運営					
合計								

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

・当法人の中期目標等は中分類以下が上記の区分に分けられないため、記載ができません。

参考に当法人の中期目標及び中期計画を添付します。

http://www.naramed-u.ac.jp/info/plan_evaluation/business.html

・当法人の中期目標における数値目標が、目標本来の主旨を必ずしも適切に表していないものや、基本となる数値に誤りがあるものがあり、見直しが必要と考えているが、設置団体は見直しについては消極的である。

・設置団体の第2期中期目標の策定方針として、数値目標を重要視し、結果多くの項目において設定されているが、数値目標の設定にこだわることで、目標本来の主旨を必ずしも適切に表していないものや、教育研究機関である大学として単独で追求しにくいものも存在している。このような状況の中、評価の際これらの数値目標をどこまで重視するか課題と思われる。

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
5月	事業報告書作成作業の開始
6月	関連部分の監査法人のチェック、教育研究審議会・経営審議会での審議、役員会での承認

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
3月	報告書作成担当課から各所属への照会
4月	素案の取りまとめ、中長期計画推進委員会・役員会での審議
5月	修正案の作成、上記会議での再審議
6月	教育研究審議会・経営審議会での審議、役員会での承認

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

年度計画を一つ一つ評価し、その平均点をもって大項目を評価しているので、評価結果と総合的な中期計画の進行度合いが乖離する場合がある。俯瞰的な視点での評価が必要と考える。

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

当法人については、設置団体が行政的な政策の一部として法人に実施してもらいたい内容のみを中期目標としており、大学運営すべてが網羅されておらず、評価結果については、設置団体の政策が進行しているかどうかの判断材料にはなるが、大学運営全般の評価にはならず、評価結果の運営への反映については困難である。

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 <input checked="" type="radio"/> A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 <input type="radio"/> B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている <input type="radio"/> C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） <input type="radio"/> D) その他（ ）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください 評価委員会各委員が個別に必要な資料の提出を要求されるので、資料収集・作成が負担となっている。あらかじめ、必要資料を定型化しておく必要があると考える。 また、現在は中期計画の法人全体としての進捗管理は4半期ごとの会議（中期計画執行役員会議）にて行っており、とりまとめを行う事務局からの各所属への照会、回答によって情報を収集・集約している。 計画を実施する各部局ごとに、随時進捗管理・情報更新できるような学内情報システムが構築されれば、最新情報の共有化にもつながり、情報収集の負担軽減だけでなく、より円滑に計画を遂行できる。（現在学内において環境整備を検討中）

6 法人評価と認証評価との関係について

法人評価における大学の教育研究の特性への配慮については、地独法第79条では、「中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価を踏まえることとする」と定められています。また年度評価に際しては、評価委員会の判断で、教育研究については客観的外形的評価にとどめ、質的判断を示す評点による評価を行っていない評価委員会もあります。法人評価の実質化については、教育研究の特性に配慮するために、認証評価との関係の整理が必要との声がありますが、この課題について以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めていますか A) 中期目標期間を特段考慮していない B) 考慮して7年を待たずに受審することがある C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている			③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 年目	
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください 評価委員の評価においては、認証評価の内容がほとんど考慮されていないので、共通する部分は評価しないなどの負担軽減が必要と考える。				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください 公立大学法人が両方の評価を別々に受けることにより、事務負担が大きいため、教育研究分野については評価委員会では評価しないなどの制度の整合性を図る必要があると考える。				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

評価だけではなく、中期目標や中期計画の策定指針などを作成し、運用の画一化を図る必要があると考える。
 (国立大学法人は評価機関が同一であるため、評価結果のぶれが少ない)

29 公立大学法人岡山県立大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	部局長会議		評価委員会	
②①の責任者の役職名・職位等	学長		学長	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	①と同じ		認証評価部会	
④③の責任者の役職名・職位等	②と同じ		教授	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	教授	2年目	教授（④と同じ）	2年目
	教授	2年目	教授	1年目
	教授	2年目	教授	1年目
	教授	4年目	教授	1年目
	教授	2年目	教授	1年目
	教授	1年目	教授	2年目
	教授	1年目		
	◎事務局長	3年目		

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画		
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位評価項目数	数値目標の数	
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的	1	0	0	0			
		教育研究組織							
		教員及び教育支援者							
		学生の受入	1	0	1	0	1	0	
		教育内容及び方法（学士課程）	}						
		教育内容及び方法（大学院課程）		5	0	17	1	17	1
		学習成果		8	0	14	4	14	3
		学生支援		4	0	6	1	6	1
	研究	研究活動の状況	3	0	5	0	5	1	
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	4	0	12	2	12	2	
国際化	教育の国際化の状況	3	0	3	3	3	0		
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営	4	0	16	0	16	0	
	人事の適正化	管理運営	4	0	4	0	4	1	
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	6	0	11	2	11	2	
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提出に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	1	0	1	0	1	0	
	情報公表	教育情報等の公表	1	0	1	0	1	0	
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	1	0	1	0	1	0	
	安全管理／人権	管理運営	2	0	5	0	5	0	
	その他	管理運営	0	0					
合計			48	0	97	13	97	11	

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

--

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
25年10月	実績策定手順の承認・作業開始
26年1月	実績（素案）集約・学内協議
26年4月	年度実績自己評価（案）作成・学内協議（複数回）後審議会へ附議
26年6月	審議会等による承認後役員会へ附議、役員会承認後提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
24年9月	実績策定手順の承認
24年11月	実績（案）集約・協議
25年4月	学内協議後審議会へ附議
25年6月	審議会等による承認後役員会へ附議、役員会承認後提出

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
	該当なし

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

--

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

--

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）自己評価書等はホームページ上で公開しているため添付しない。個別の数値は大学概要・教育年報・社会貢献年報に記載
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 (A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 (B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている (C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） (D) その他（ ）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください ・情報が各担当部署に分散管理されていて、全体を俯瞰した情報管理・分析が難しい

6 法人評価と認証評価との関係について

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めてありますか		③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。		年目
(A) 中期目標期間を特段考慮していない (B) 考慮して7年を待たずに受審することがある (C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている		→ B)、C)の場合、右の		
③にもお答えください				
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題等があればご記入ください				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

--

30 公立大学法人島根県立大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	—		自己点検・評価委員会	
②①の責任者の役職名・職位等	理事長		学長（委員長）	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	総務課		総務課	
④③の責任者の役職名・職位等	総務課長		総務課長	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付してください。	◎総務課長	2年目	主任主事	1年目
	主任主事	1年目		年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位評価項目数	数値目標の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的	1	0	1	0	2	0
		教育研究組織	1	0	0	0	0	0
		教員及び教育支援者	3	0	7	0	17	2
		学生の受入	1	1	4	1	13	0
		教育内容及び方法（学士課程）	1	0	11	2	28	0
		教育内容及び方法（大学院課程）	1	0	8	0	12	0
		学習成果	1	0	1	0	4	0
		学生支援	8	0	12	1	31	1
	研究	研究活動の状況	5	0	9	1	41	1
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	4	0	8	3	24	0
国際化	教育の国際化の状況	3	0	6	1	15	1	
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営	2	0	3	0	4	0
	人事の適正化	管理運営	3	0	6	0	7	0
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	5	0	7	0	10	0
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提出に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム	2	0	5	0	5	0
	情報公表	教育情報等の公表	2	0	6	0	12	1
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	1	0	1	0	1	0
	安全管理／人権	管理運営	3	0	5	0	7	0
	その他	管理運営	1	0	1	0	1	0
合計			48	1	101 (再掲含)	9	234 (再掲含)	6

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

特になし

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
10月	年度計画進捗状況提出依頼（11月上旬締め）
11月	年度計画進捗状況の確認、事業報告書：各部署へ原案作成依頼（1月末締め）
1月下旬～2月中旬	原案とりまとめ・学内における検討・事務局長等へ随時チェック依頼
3月中旬	事業報告書：確定版の作成依頼（4月末締め）
～5月下旬	取りまとめ、理事長・事務局長等の最終チェック
6月上旬～中旬	関係役員・審議機関等による承認、業務実績報告書の提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
H25.4月	事業報告書作成作業の開始、各部署への作業依頼発出（5月上旬締め）
H25.5月	原案取りまとめ、設置団体に原案提出、事務局長等によるチェック
H25.6月	理事長・事務局長等の最終チェック、関係役員・審議機関等による承認、業務実績報告書の提出

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
H23.3	設立団体から中間評価の実施について通知
H23.9	各部署への作業依頼発出（12月締め）
H23.12	集約
H24.1～2	事務局長等によるチェック
H24.3	関係役員・審議機関等による承認、中間報告書の提出

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について**(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。**

特になし

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

特になし

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）
②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。 <input checked="" type="radio"/> A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。 <input type="radio"/> B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている <input type="radio"/> C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む） <input type="radio"/> D) その他（ ）
③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください ○数値を算出する際の定義の捉え方が、部署や担当者によって異なる場合がある。 （例えば、「公開講座の参加者」と言った時に、出前講座、シンポジウムのようなものも公開講座に含めるか否か）

6 法人評価と認証評価との関係について

法人評価における大学の教育研究の特性への配慮については、地独法第79条では、「中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価を踏まえることとする」と定められています。また年度評価に際しては、評価委員会の判断で、教育研究については客観的外形的評価にとどめ、質的判断を示す評点による評価を行っていない評価委員会もあります。法人評価の実質化については、教育研究の特性に配慮するために、認証評価との関係の整理が必要との声がありますが、この課題について以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は 同一である	連携して対応 している	かならずしも連携 が取れていない	それぞれ別の作業 となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めてありますか		③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 6 年目		
A) 中期目標期間を特段考慮していない		} → B)、C)の場合、右の ③にもお答えください		
B) 考慮して7年を待たずに受審することがある				
C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている				
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください 特になし				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください ○報告書の作成に多大な事務手間と学内調整を要する。				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

○年度計画の策定において、法人が重点的に取り組む「重点項目」を設定し、法人の予算編成とも連動させながら取り組みを推進している。

3 1 公立大学法人県立広島大学

1 評価を担当する組織

	法人評価		認証評価	
①評価を統括する委員会（教員組織）名	教育研究審議会		教育研究審議会	
②①の責任者の役職名・職位等	理事長 中村 健一		理事長 中村 健一	
③評価を直接担当する組織・セクション名等	業務評価室		業務評価室	
④③の責任者の役職名・職位等	学長補佐 藤井 保		学長補佐 藤井 保	
⑤③の組織で実際の業務にあたる職員の職位と評価業務経験年数（何年目でカウントしてください）。設立団体からの派遣職員の場合は職位の前に◎を付けてください。	◎次長（兼）経営企画室長	3年目	◎次長（兼）経営企画室長	3年目
	◎主任企画員	2年目	◎主任企画員	2年目
	スタッフ	3年目	スタッフ	3年目

2 中期目標、中期計画、年度計画の項目数について

（1）中期目標、中期計画、及び直近の年度計画において最小単位の評価項目、並びにそれぞれに含まれる数値目標数を回答欄左に示した「中期目標の分類」に沿ってご回答ください。なお、「中期目標の分類」は、表内の※に記した基準に基づいて分類したものです。

中期目標の分類			中期目標		中期計画		年度計画	
大分類 ※法定事項	中分類 ※いくつかの中期目標を参考に作成	小分類 ※機関別認証評価、選択評価基準（大学評価・学位授与機構）を援用	項目数	数値目標の数	項目数	数値目標の数	最小単位評価項目数	数値目標の数
教育研究の質の向上に関する事項	教育	大学の目的	1	0	1	0	1	0
		教育研究組織			3	0	3	0
		教員及び教育支援者			2	0	2	0
		学生の受入			7	2	7	2
		教育内容及び方法（学士課程）			17	3	17	3
		教育内容及び方法（大学院課程）			5	2	5	2
		学習成果			3	1	3	1
		学生支援			6	2	6	2
	研究	研究活動の状況	1	8	1	8	1	
	地域貢献、社会貢献	地域貢献活動の状況	1	15	1	15	1	
国際化	教育の国際化の状況	（教育に含む）		5	2	5	2	
業務運営の改善及び効率化に関する事項	経営戦略／機動的運営（項目）	管理運営	1	0	5	0	5	0
		人事の適正化			管理運営	6	0	6
財務内容の改善に関する事項	財務運営／資産管理	財務基盤	1	0	6	1	6	1
教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提出に関する事項	自己点検評価	教育の内部質保証システム			3	0	3	0
	情報公表	教育情報等の公表	1	0	1	0		
その他業務運営に関する重要事項	施設・設備の整備等	施設・整備	1	0	3	0	3	0
	安全管理／人権	管理運営			2	0	2	0
	その他	管理運営			2	0	2	0
合計			4	0	100	15	100	15

（2）数値目標の内容等について、特に課題とお感じのことがあれば具体的にご記入ください。

- ・数値目標の設定値のレベルに関する考え方（妥当なレベルでの設定）について、全学的な認識の共有が容易でないこと。また、妥当性に関する客観的な検証が容易でないこと。
- ・数値目標を設定した小項目の評価（小項目評価）に関すること。具体的には、数値目標の達成状況にのみ注目が集まり、小項目評価において、当該項目における取組みの実態が軽視されかねないこと。

3 事業報告書作成のスケジュール

法人評価のための事業報告書等の作成プロセスについて、スケジュールを具体的にご記入ください。

(1) 平成25年度の事業報告書の作成スケジュールについて

月	内容
平成26年1月	事業報告書作成作業の開始
平成26年4月	達成状況を集約した内容の学内における検討、報告書案の作成
平成26年5月	設置団体の担当部局（環境県民局学事課）との事前調整
平成26年6月	理事長、事務局長等の最終チェック
平成26年6月	関係役員、審議会等による承認、業務実績報告書の提出

(2) 中期目標期間の業務実績報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
平成25年1月	事業報告書作成作業の開始
平成25年4月	達成状況を集約した内容の学内における検討、報告書案の作成
平成25年5月	設置団体の担当部局との事前調整
平成25年6月	理事長、事務局長等の最終チェック
平成25年6月	関係役員、審議会等による承認、業務実績報告書の提出

(3) 中期目標期間の4年目などで行う中間的な評価に関する報告書の作成スケジュールについて

年月	内容
平成21年9月	事業報告書作成作業の開始
平成22年9月	達成状況を集約した内容の学内における検討、報告書案の作成
平成22年10月	理事ヒアリングの実施
平成22年11月	理事長、事務局長等の最終チェック、関係役員による承認、業務実績報告書の提出

4 法人評価の方法及び法人評価結果の活用について

(1) 法人評価の方法に関して課題があればご記入ください。

・各事業年度業務実績評価実施要領が改定され、「項目別評価」に係る「評価規準」及び「評価基準」を定め、県法人評価委員会に提出することとなったが、その目的（自己評価に係る精度の向上と客観性の確保）に資する評価規準・基準の策定及び運用が容易でないこと。

参考：上記の評価実施要領から関係部分を抜粋
 （評価の方法）
 第3 評価は、法人が提出する業務実績報告書に基づき、「項目別評価」及び「全体評価」により行う。
 (1) 業務実績報告
 各事業年度における業務の実績評価は、業務実績報告書（別記様式）によるものとし、次のとおり作成する。
 ① 法人は、年度計画を定めるに当たり、自己評価に係る精度の向上と客観性を確保するため、項目ごとに評価の標準とすべき規準（評価規準）及び評価の段階を判断すべき基準（評価基準）を定め、委員会に提出する。
 なお、委員会での審議の実質化を図るため、評価規準及び評価基準を定める項目は、年度計画の重点項目及び数値目標が掲げられている項目に限ることができるものとする。

(2) 評価結果の公立大学法人運営への反映に関して課題があればご記入ください。

・特記事項なし。（評価結果において、「本評価委員会が課題・意見として取り上げた事項（前年度の評価分）について、それぞれ真摯な対応がなされている点についても評価できる。」との評価を得ており、法人運営への反映が行われていると判断する。）

5 法人評価のための情報収集等について

法人評価に必要な情報の収集等の課題について、以下の点についてお答えください。

①年度評価・中期目標期間評価においてどのような指標・データ項目を用いているか資料を提供ください（提出資料A）

②以下の記述のうち、法人評価に必要な情報の取扱いの現状に近いものに○をつけてください。
 A) 必要情報は、事業報告書提出の際に提供し、不足分は評価委員会の指摘・要求に基づいて追加提出する。
 B) 必要情報は、法人の作成する年報等で日常的に参照できる状態になっている
 C) 例えば、法人評価に必要な情報を随時引き出すことのできる情報システム等の整備を行っている（計画段階を含む）
 D) その他（ ）

③法人評価に必要な情報の収集等について、課題等があればご記入ください
 ・法人評価に必要な情報の収集・管理に関する法人内の認識が未だ不十分であり、収集した情報の法人内での活用についても課題がある。

6 法人評価と認証評価との関係について

法人評価における大学の教育研究の特性への配慮については、地独法第79条では、「中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価を踏まえることとする」と定められています。また年度評価に際しては、評価委員会の判断で、教育研究については客観的・外形的評価にとどめ、質的判断を示す評点による評価を行っていない評価委員会もあります。法人評価の実質化については、教育研究の特性に配慮するために、認証評価との関係の整理が必要との声がありますが、この課題について以下の問いにお答えください。

①法人内で、認証評価の担当組織との連携がとれていますか	両評価の対応組織は同一である	連携して対応している	かならずしも連携が取れていない	それぞれ別の作業となっている
②認証評価受審のタイミングを中期目標期間との関係を考慮に決めてありますか A) 中期目標期間を特段考慮していない B) 考慮して7年を待たずに受審することがある C) 中期目標期間との関係で時期を明確に定めている		→ B)、C)の場合、右の③にもお答えください	③②でB)、C)の場合、中期目標期間何年目に認証評価を受けますか。 5 年目	
④中期目標期間の評価において、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価の踏まえ方について、課題があればご記入ください ・「評価の踏まえ方」について、その明確化・具体化が望まれる。				
⑤教育研究に関する評価や、認証評価を含めた大学の評価の在り方について、課題等があればご記入ください ・評価に関わる多様な人材（法人内及び法人外）の育成、及びその資質の向上が望まれる。				

7 法人評価の実質化等に向けての取組み、要望等

その他、貴法人が行う法人評価における積極的な取組み事例や、その他、課題、要望等があればご記入ください。

・評価に関わる多様な人材（法人内及び法人外）の育成、及びその資質の向上に関する取組みの拡充
